

資料○

公共交通（鉄道・バス・タクシー）に関する住民アンケート調査 調査結果

<調査実施概要>

（１）調査目的

多様化する市民の移動実態（移動先や移動手段）、公共交通の利用状況、伊東市における公共交通の今後の方向性に対する考えなどを把握するため、市民 1,200 人を対象としたアンケート調査を実施しました。

（２）調査概要

【調査時期】2024 年 7 月～8 月

【調査対象】1,200 人（無作為抽出）

【調査方法】〔配布〕郵送 〔回収〕郵送または WEB 回答

【調査項目】①個人属性（居住地、年代、免許、自動車の保有状況）

②外出実態（移動目的、頻度、交通手段、行先）

③公共交通の利用状況（鉄道、バス、タクシーの頻度、目的、重視する点）

④公共交通の利用のしやすさ

⑤公共交通の今後の方向性について など

※調査票は資料巻末でお示しします

【回収数】364 人（回収率 30.3%）

＜調査結果概要＞

（１）免許、自動車の保有状況 【6～7 ページ】

- ・回答者のうち、免許を持っている方の比率は約70%、世帯に自動車が1台以上ある比率は約80%となっています。統計情報（静岡県警 交通年鑑）と同様の傾向です。
- ・年代別では、70歳代以上の方の免許保有率、保有台数が低くなる傾向にあります。
- ・静岡県全体や全国と比較すると、人口当たりの保有率、保有台数ともに全国平均より高い状況ですが、静岡県全体より低くなっています。

表 伊東市、静岡県、全国の免許保有、自動車保有状況（令和4年度）

	伊東市	静岡県全体	全国
保有者数（人）	43,437	2,524,842	81,840,549
人口（人）	64,126	3,582,194	124,947,000
人口当たり保有率（%）	68%	70%	66%
	伊東市	静岡県全体	全国
保有台数（台）	50,511	3,184,458	91,356,361
人口（人）	64,126	3,582,194	124,947,000
人口当たり（台／人）	0.79	0.89	0.73

※出典：静岡県警 交通年鑑

（２）外出状況について 【8～15 ページ】

- ・最も多い外出の目的は通勤又は買い物、2番目に多い外出の目的は買い物又は通院であり、移動手段も全体として自動車が過半数を示しています。この結果は前回（平成29年度実施）の調査結果と同様の傾向です。
- ・ただし、前回調査と比較すると、鉄道の利用率が低下（前回：10%→今回：5%）しており、新型コロナウイルス等の影響で、利用率が低下したものと考えられます。

（３）公共交通の利用状況 【16～27 ページ】

- ・鉄道、バス、タクシーの利用状況は、前回調査結果からほぼ変化はありません。
- ・週1日以上各交通手段を利用する比率の今回調査と前回調査の比較は以下のとおりです。
 鉄道：今回7.8%、前回8.7%
 バス：今回7.2%、前回6.8%
 タクシー：今回2.8%、前回2.9%

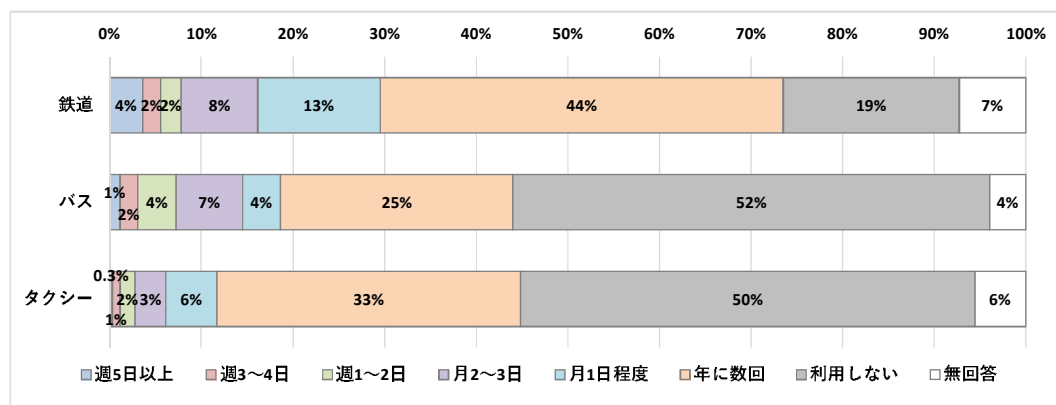


図 鉄道、バス、タクシーの利用状況

（４）公共交通利用で重視する機能 【16～27 ページ】

- ・公共交通の利用で重視する点として、鉄道とバスは「運行に関すること」、タクシーは「料金に関すること」が主となる点は、前回調査から変更ありません。
- ・ただし、鉄道とバスは「運行に関すること」の比率が高くなっており、コロナの影響での減便、今後の運行維持の懸念が反映されていると思われます。
- ・また、タクシーに関しては「福祉に関すること」と「その他」が増加しており、「その他」の意見では、駅にタクシーがない、タクシーを呼んでもなかなか来ない、タクシーを予約できないなど、昨今の運転手不足による影響が反映されています。

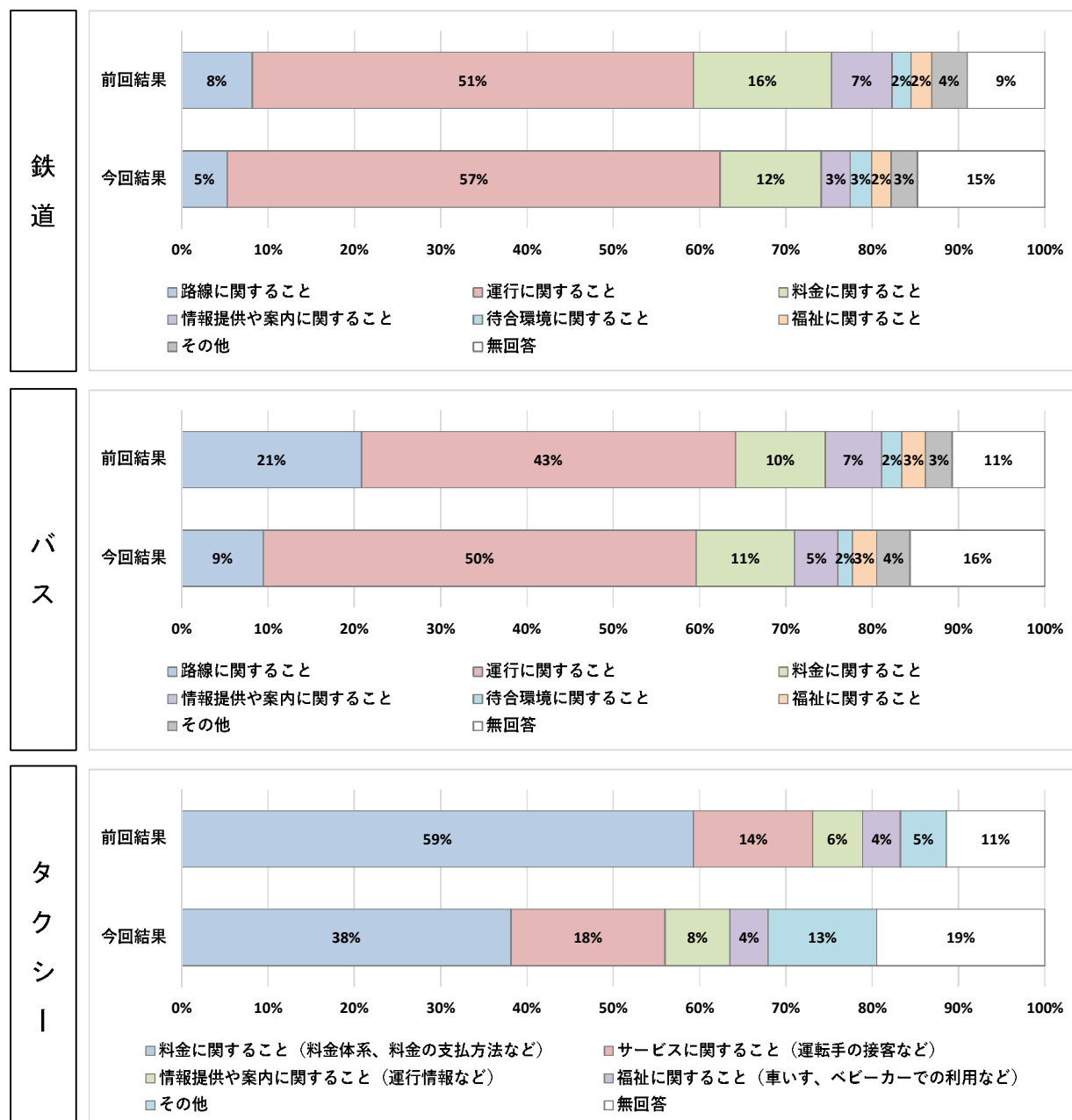


図 公共交通を利用する際に重視する点 の前回との比較

（５）公共交通による移動のしやすさ 【28～31 ページ】

- ・公共交通を利用した移動のしやすさでは、いずれの目的も、「使いやすい・やや使いやすい」の比率に対し、「やや使いづらい・使いづらい」の比率が大きくなっています。
- ・前回調査の満足と不満足之比、今回調査の使いやすいと使いづらいの比、を比較すると、今回調査の方が使いづらいとする比が大きくなっています。
- ・各交通手段はICカードの導入や情報提供の充実など、ここ数年で使いやすさは上がっている一方、全国と比較するとタクシー配車アプリ等の導入の遅れや情報提供の周知不足などが考えられ、また生活の各分野でIT技術の進展が著しい一方、公共交通分野では進展があまり見られない結果が反映されていると考えられます。

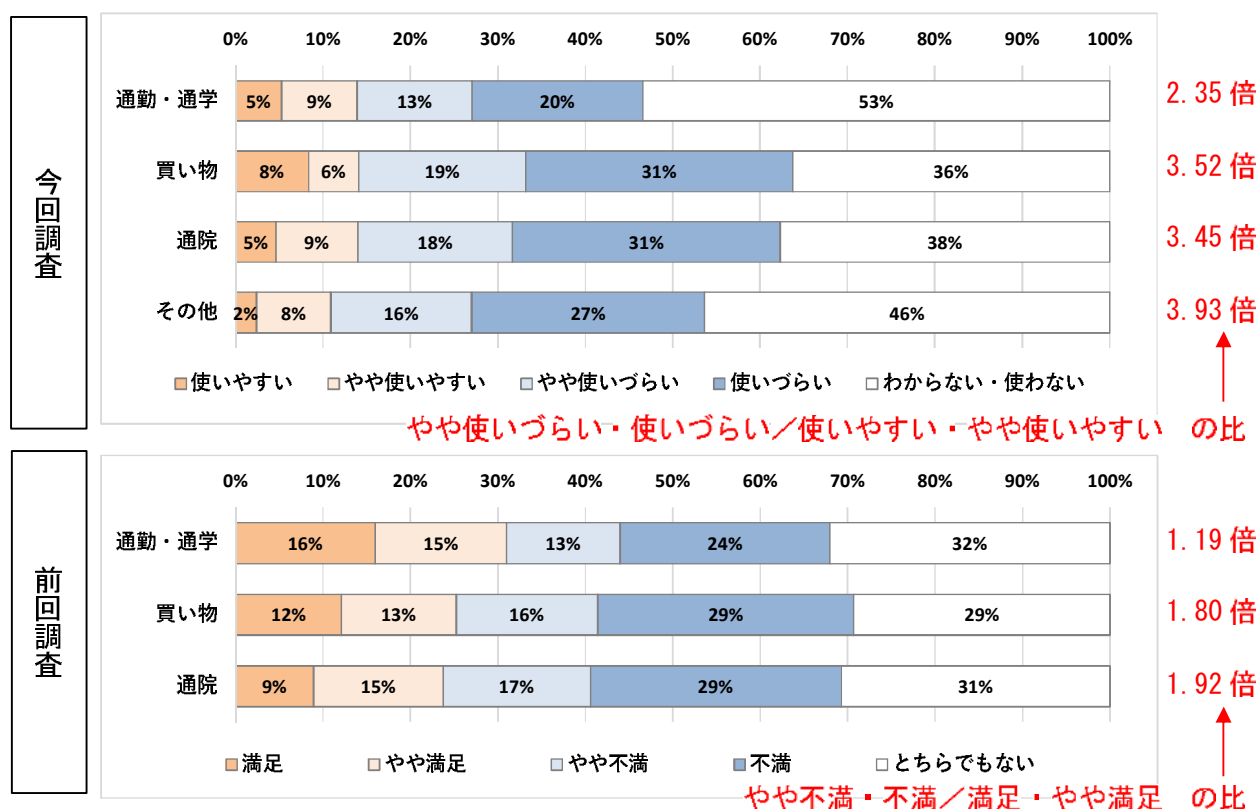


図 公共交通の利用のしやすさ の前回との比較

（６）公共交通の今後、求められる取組みについて 【32～36 ページ】

- ・公共交通への今後の展望は、「近い将来、事業者の運営状況が悪化し、市内の公共交通は不便になると思う」が主な見解となっており、そのような公共交通に対し、「財政支援を拡大し、公共交通の利便性を高めるべきである」という意見が多くなっています。
- ・また、今後必要な取組みは以下であり、これらを踏まえた計画策定が必要です。
- ・回答者が主に必要とした取組み（回答率の高いもの上位4つ）

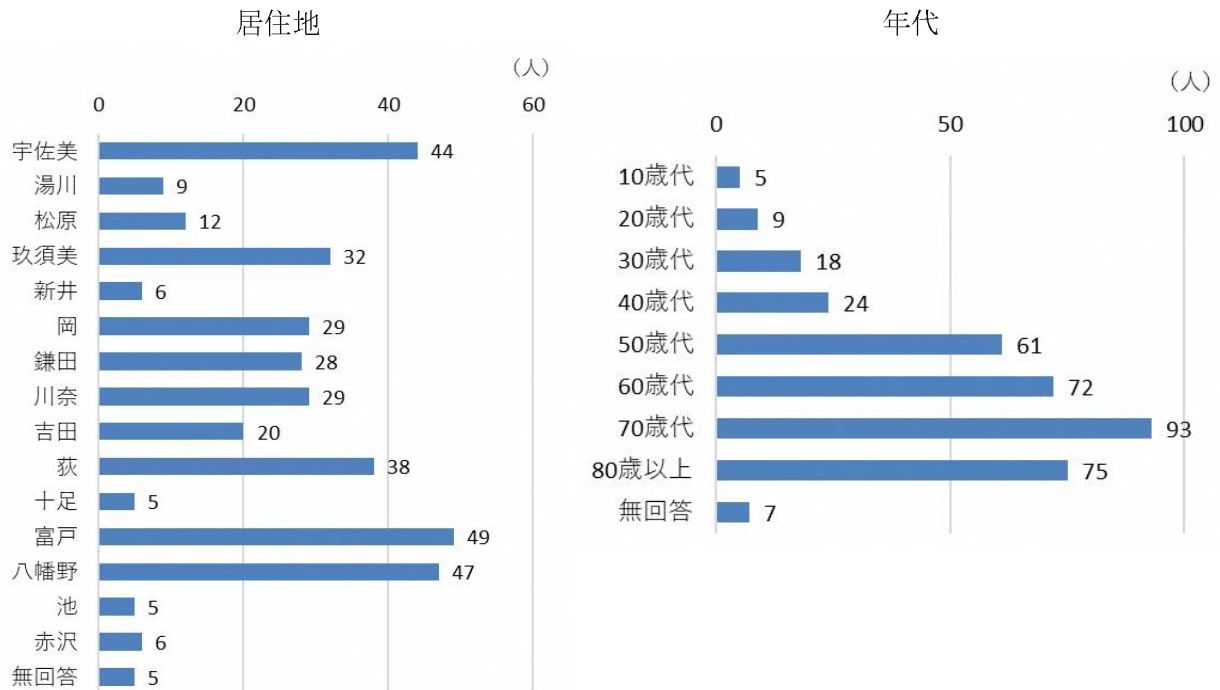
高齢者や免許返納者の移動を支援する取組み ←高齢者だけでなく全年代で多い
 居住地に関係なく、市民に対して等しく移動を支援する取組み ←地域関係なく多い
 従来の鉄道、バス、タクシー以外の新たな交通手段 ←高齢者で特に意向が多い
 子どもや子育て世代が移動しやすい環境 ←30～40歳代の子育て世代で意向が多い

<調査結果詳細>

1. 回答者属性

(1) 居住地・年代

- ・回答者の居住地、年代は以下の通りである。



地域別回収率

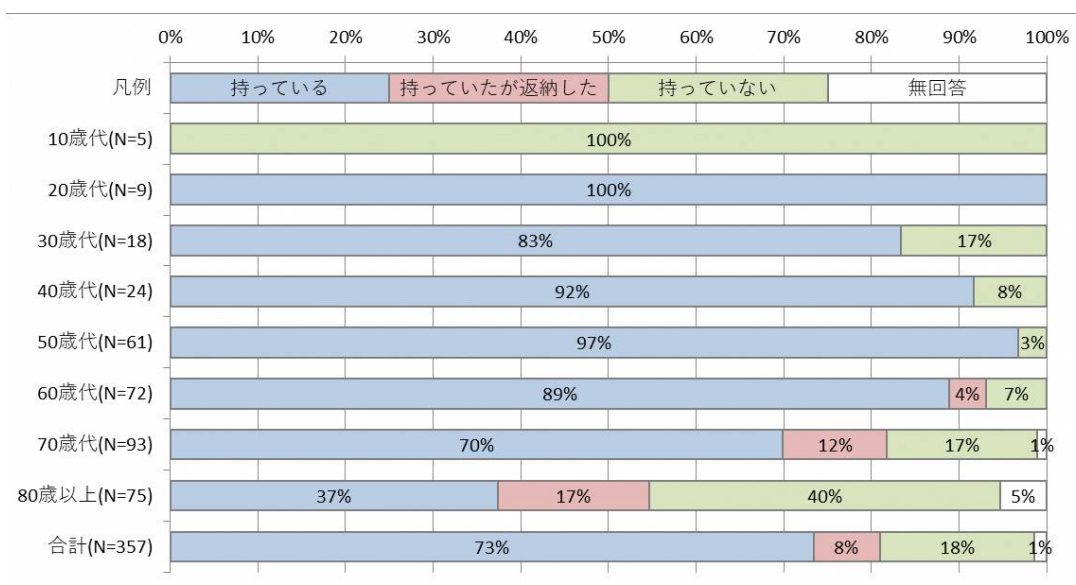
	配布数	回収数	回収率
宇佐美	148	44	29.7%
湯川	33	9	27.3%
松原	50	12	24.0%
玖須美	132	32	24.2%
新井	18	6	33.3%
岡	124	29	23.4%
鎌田	65	28	43.1%
川奈	105	29	27.6%
吉田	68	20	29.4%
荻	120	38	31.7%
十足	34	5	14.7%
富戸	126	49	38.9%
八幡野	141	47	33.3%
池	20	5	25.0%
赤沢	16	6	37.5%
合計	1200	359	29.9%

地域別・年代別の回答者数 (人)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
宇佐美	2	1	4	1	13	5	11	7
湯川	0	0	0	0	2	4	1	2
松原	0	1	1	1	4	1	1	3
玖須美	1	1	1	1	5	11	8	4
新井	0	0	0	0	2	0	1	3
岡	0	2	2	2	0	9	6	6
鎌田	0	0	2	3	9	4	6	4
川奈	0	0	3	4	4	5	7	6
吉田	1	1	0	2	4	4	6	2
荻	0	1	2	3	3	7	12	10
十足	0	1	0	0	1	2	1	0
富戸	0	1	2	5	8	7	16	8
八幡野	1	0	1	2	4	6	16	17
池	0	0	0	0	1	2	1	1
赤沢	0	0	0	0	1	4	0	1

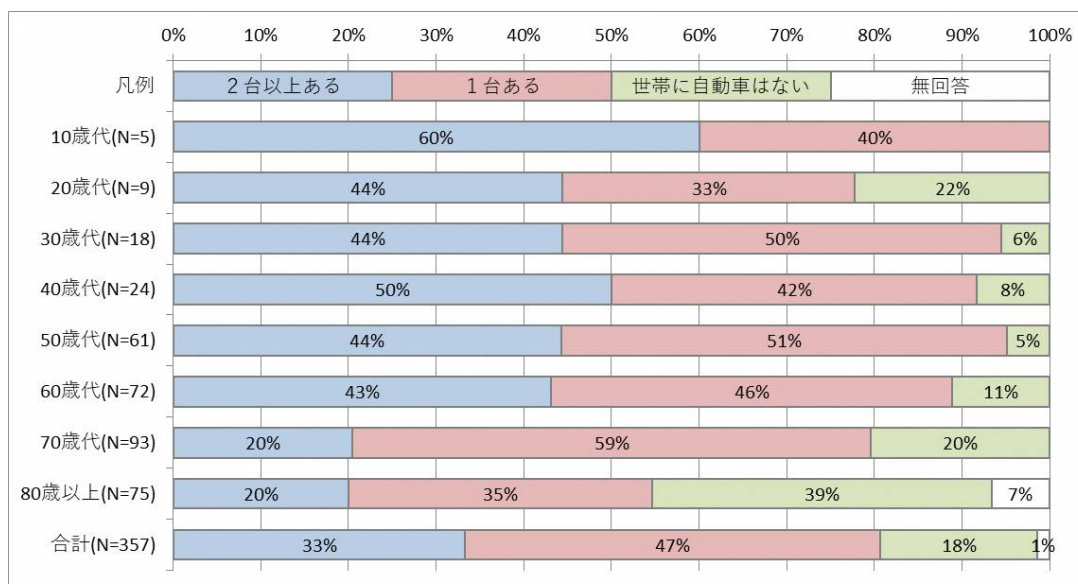
(2) 運転免許証の保有状況

- ・地域別では、各地域とも「持っている」の割合が高い。
- ・年代別では、20～70 歳代で「持っている」の割合が高い。一方で、「80 歳以上」では「持っていたが返納した」、「持っていない」の割合が高い。



(3) 世帯での自動車の保有台数

- 全体的に「2 台以上ある」「1 台ある」が多数となっている。

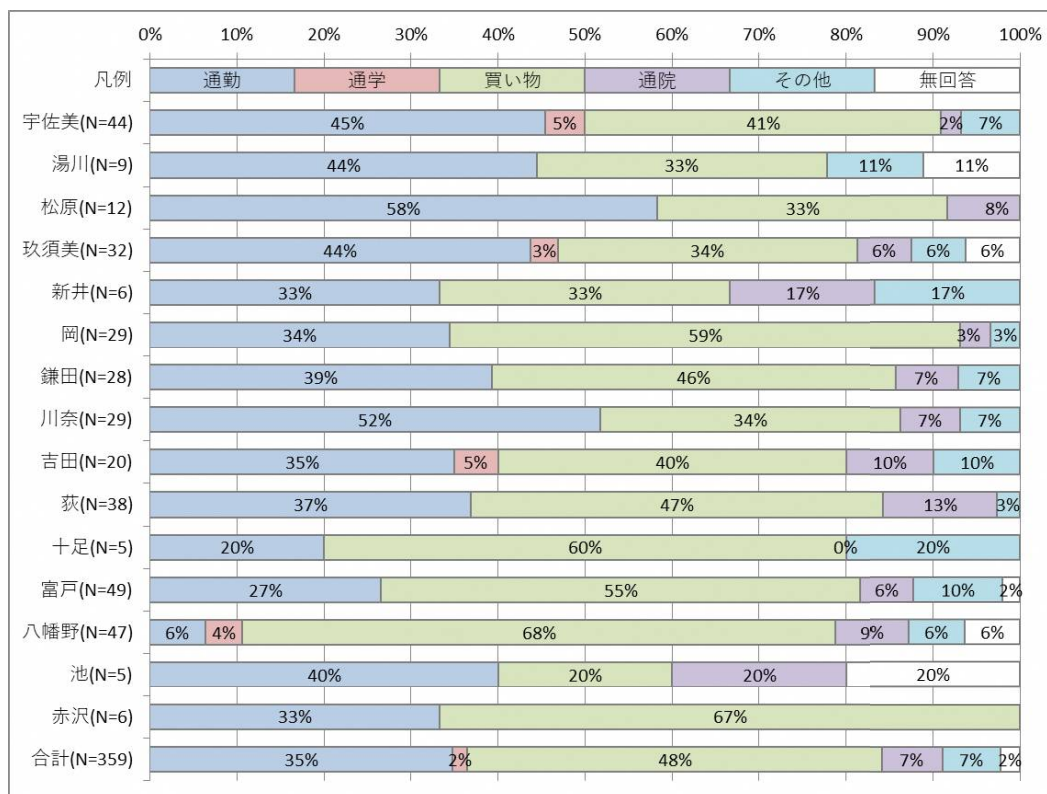


2. 普段の外出の状況

(1) 最も多い外出

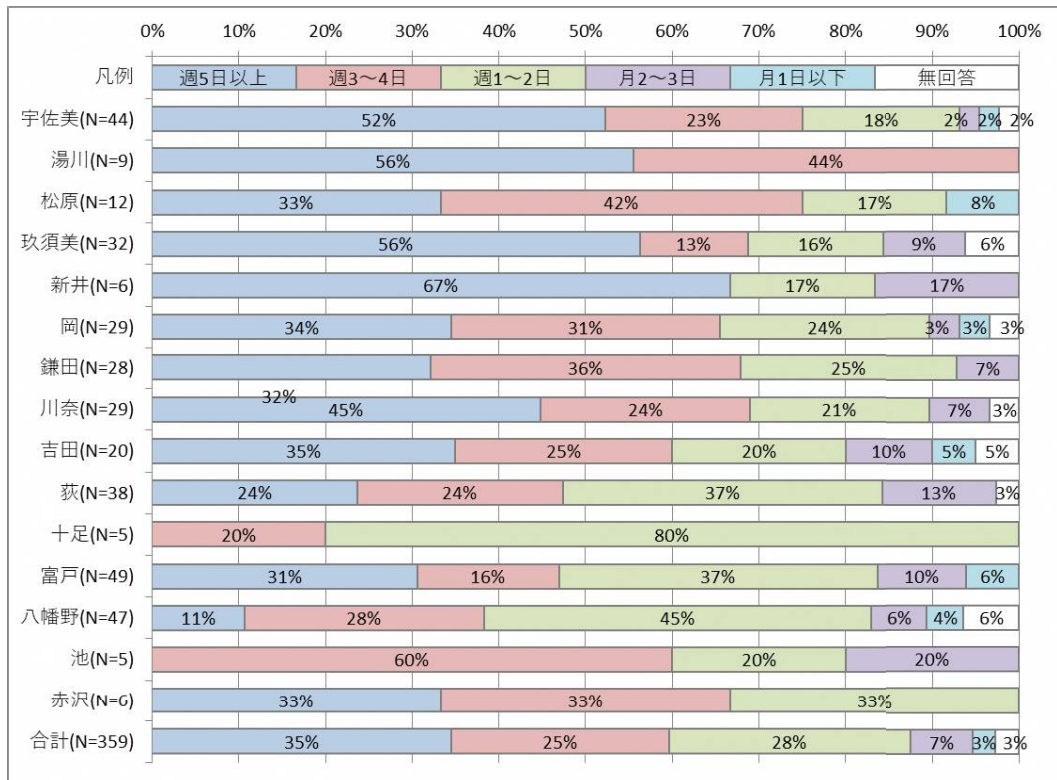
①外出目的

- ・地域別では、多くの地域で「通勤」、「買い物」の割合が高い。
- ・年齢別では、10歳代は「通学」、20～50歳代は「通勤」、60歳以上は「買い物」の割合が高い。



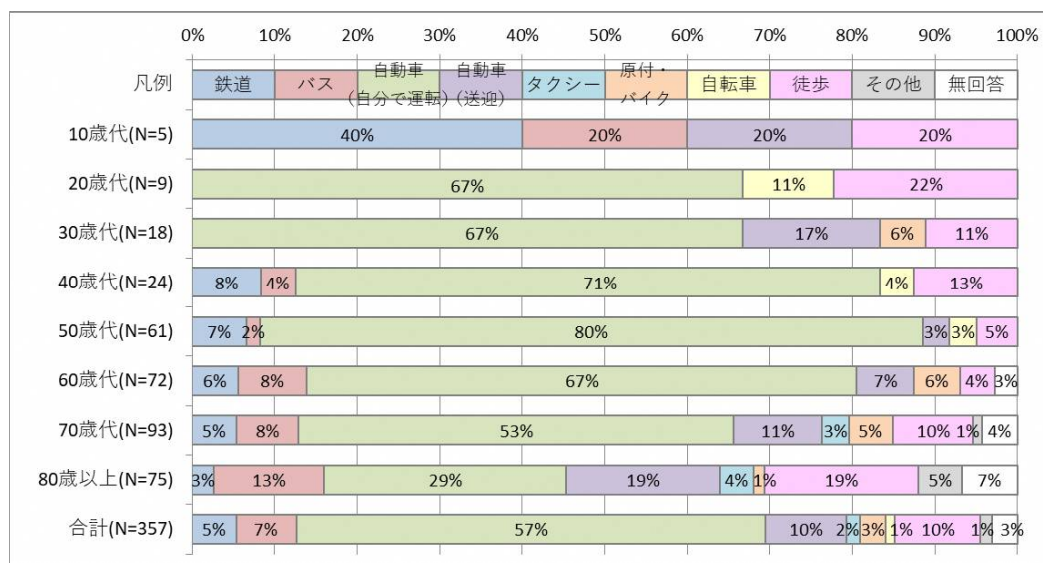
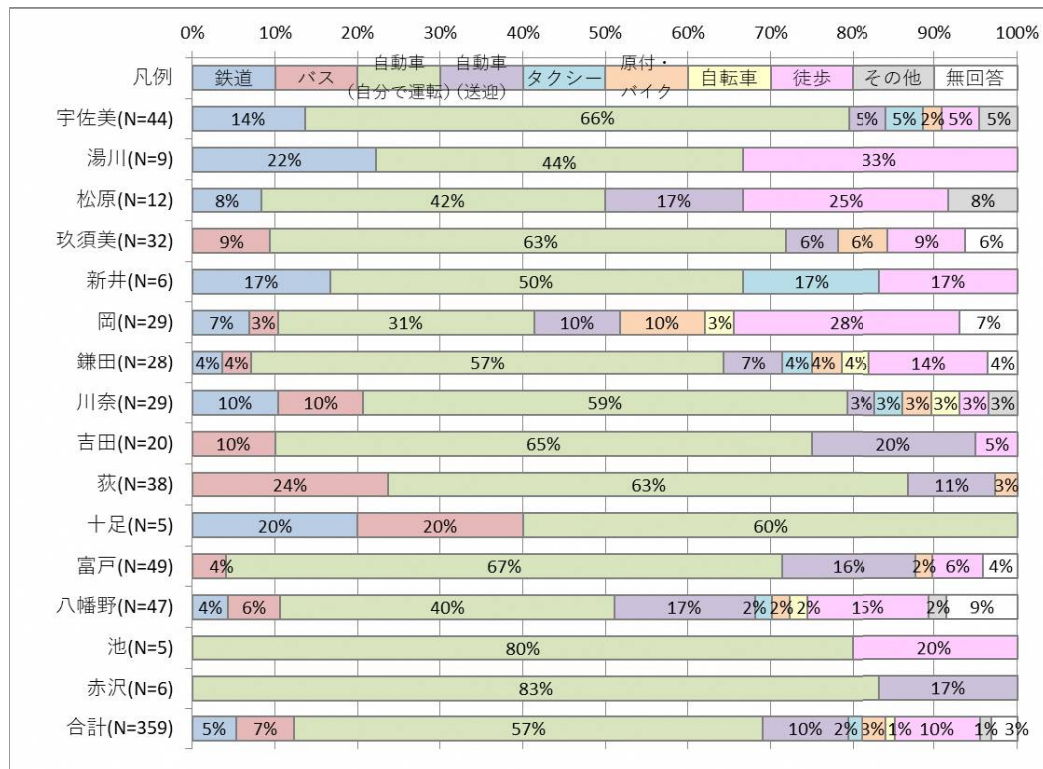
②外出頻度

- ・地域別では、多くの地域で「週5日以上」、「週3～4日」が多数となっている。
- ・年齢別では、10～50歳代は「週5日以上」の割合が高く、60歳以上は「週3～4日」、「週1～2日」の割合が高い。



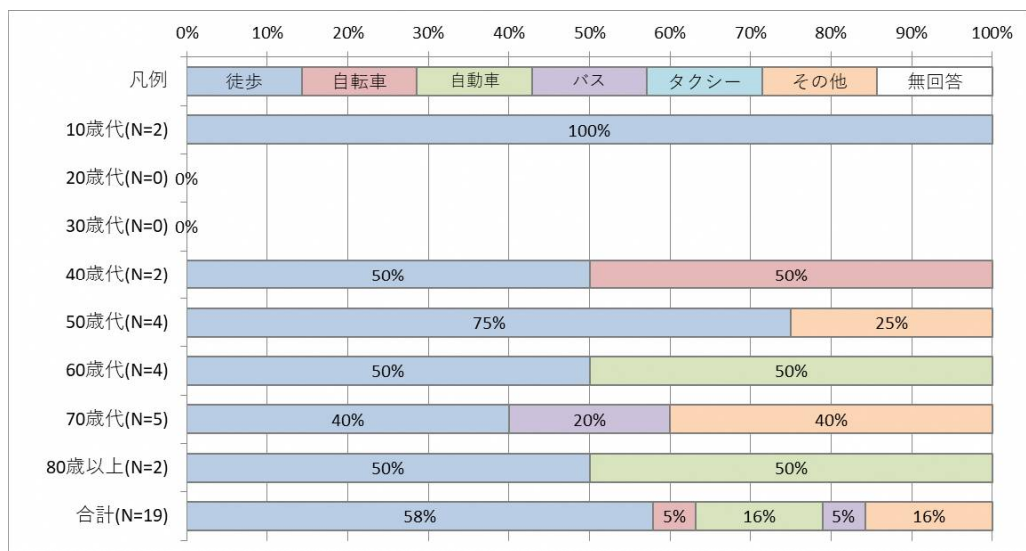
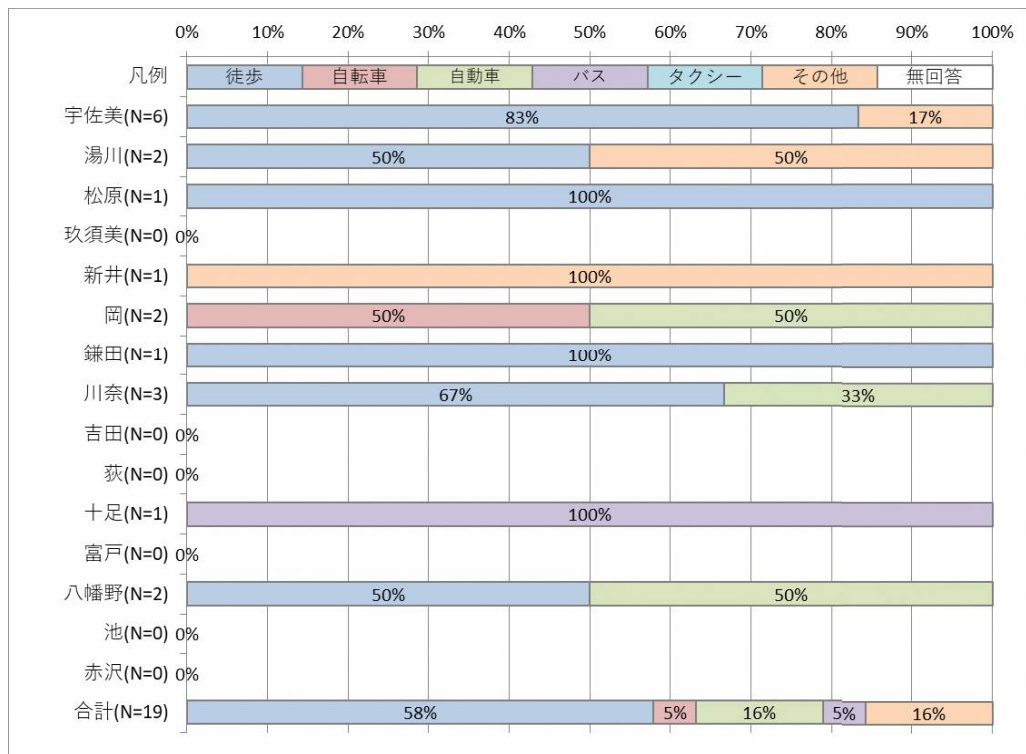
③主な交通手段

- 全体的に「自動車（自分で運転）」の割合が高い。松原、岡などの市街地では比較的「徒歩」の割合も高い。
- 年齢別では、10歳代は「鉄道」、「自動車（送迎）」の割合が高い。70歳以上は「鉄道」、「バス」といった公共交通機関の利用割合が高い。



④駅までの交通手段

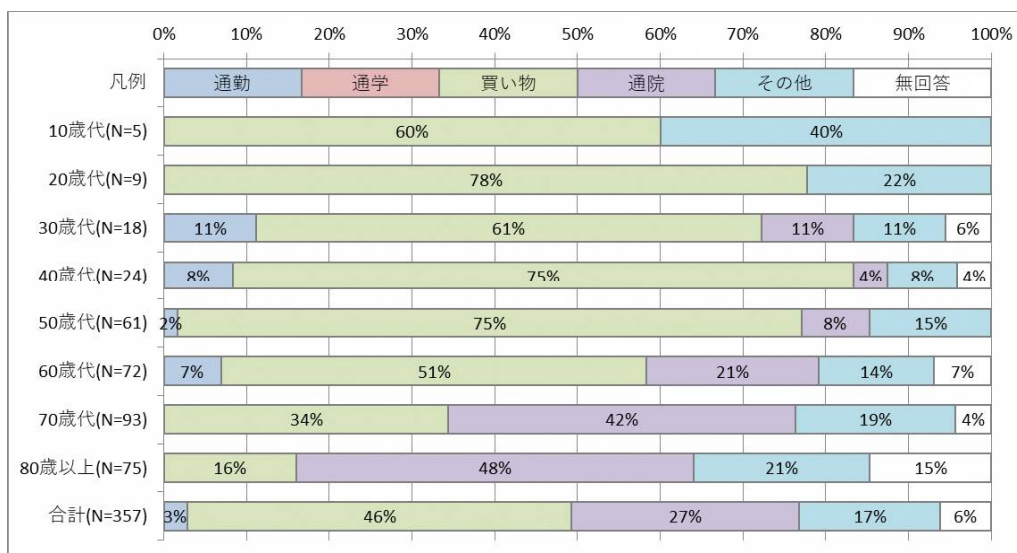
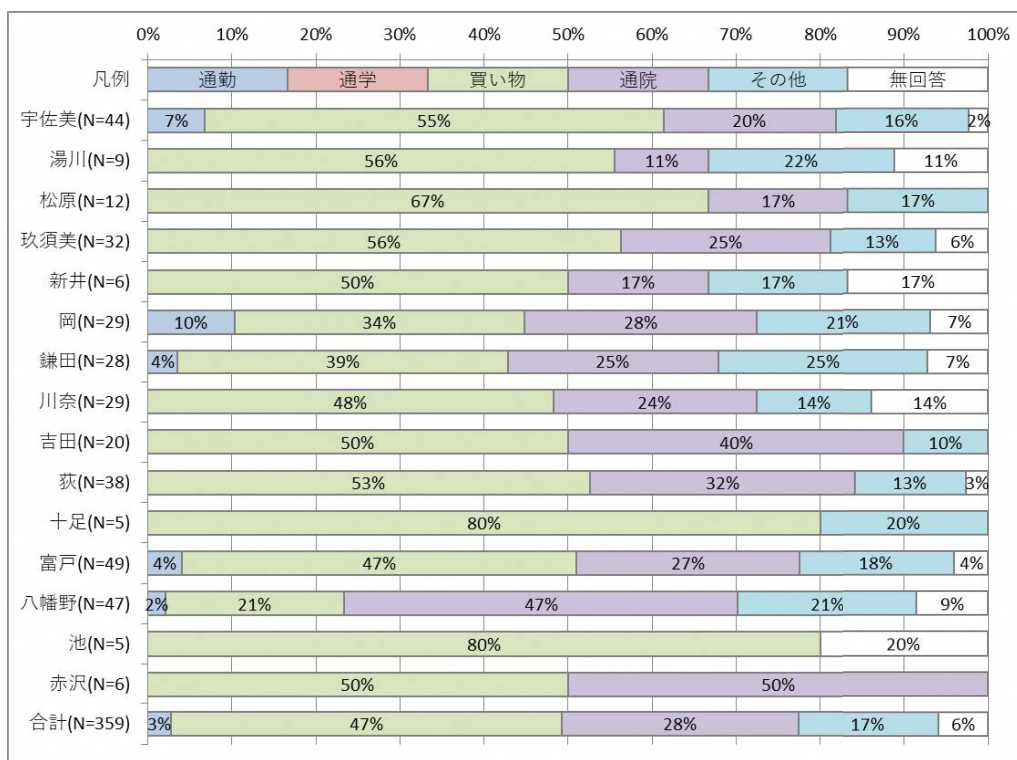
- 全体的に「徒歩」の割合が高い。



(2) 2 番目に多い外出

①外出目的

- ・地域別では、多くの地域で「買い物」の割合が高い。八幡野などでは「通院」の割合も高い。
- ・年代別では、特に 60 歳以上で「通院」の割合が高い。



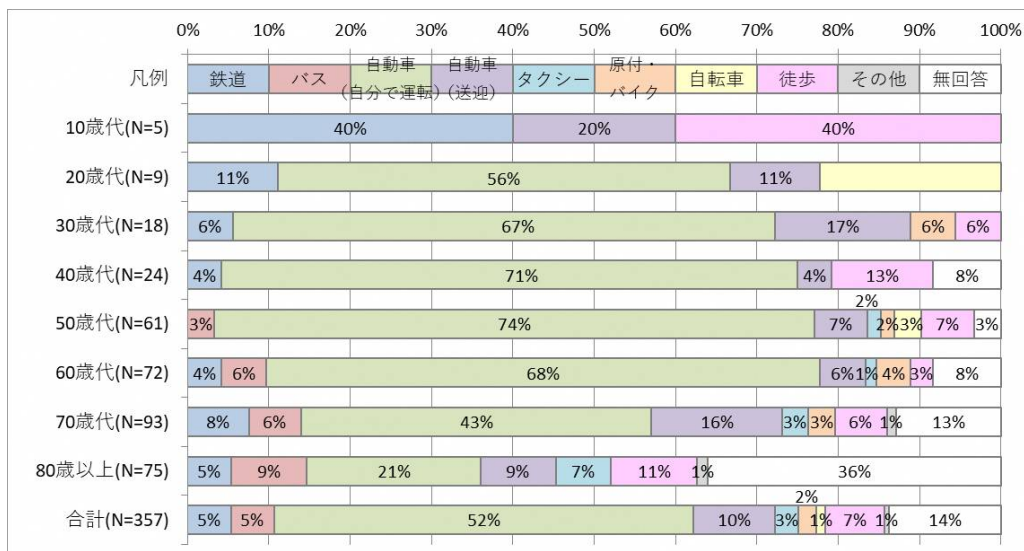
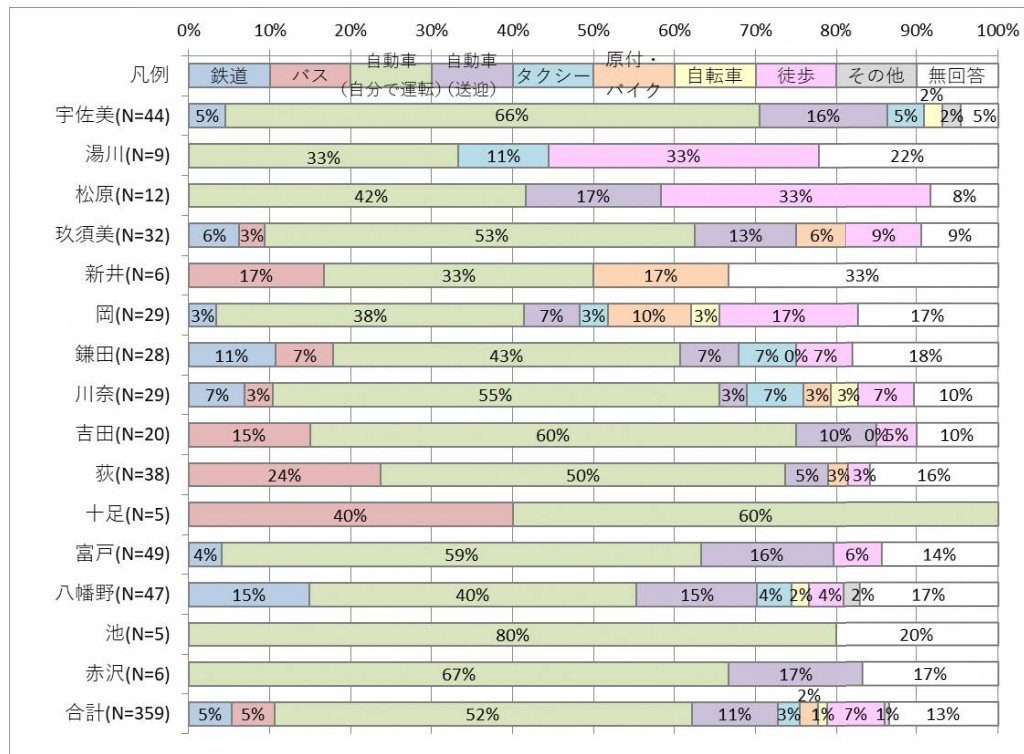
②外出頻度

- 全体的に「週 1～2 日」の割合が高い。
- 年代が高齢になるほど外出頻度は少ない傾向にある。



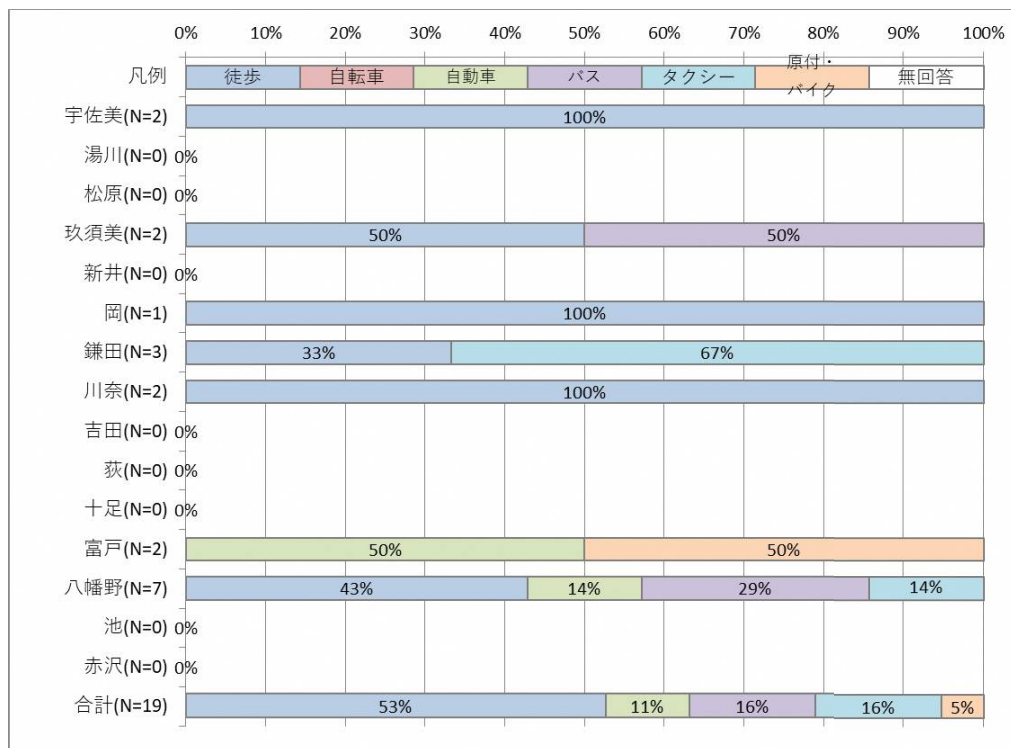
③主な交通手段

- 全体的に「自動車（自分で運転）」の割合が高い。
- 年齢別では、10歳代は「鉄道」、「自動車（送迎）」の割合が高い。60歳以上は「鉄道」、「バス」といった公共交通機関の利用割合が比較的高い。



④駅までの交通手段

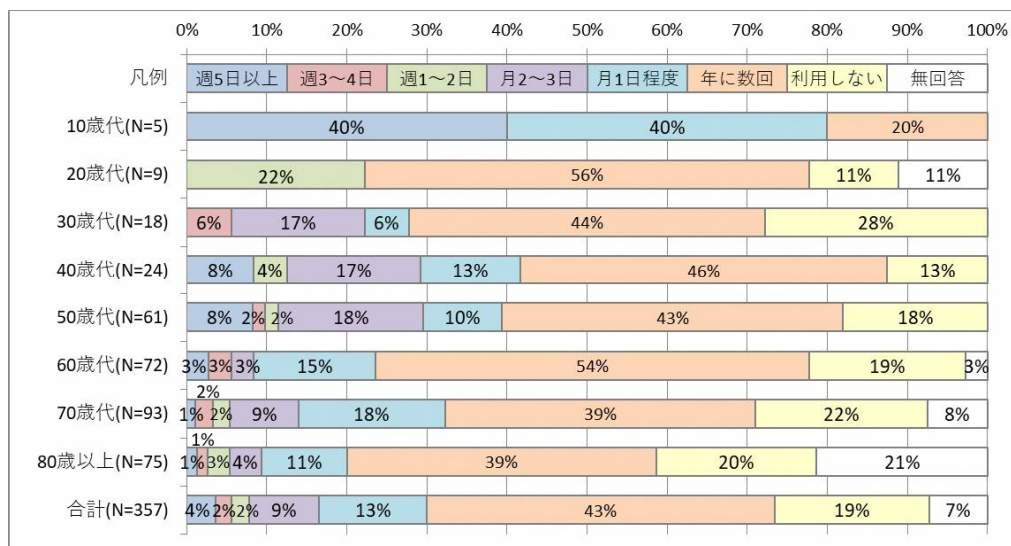
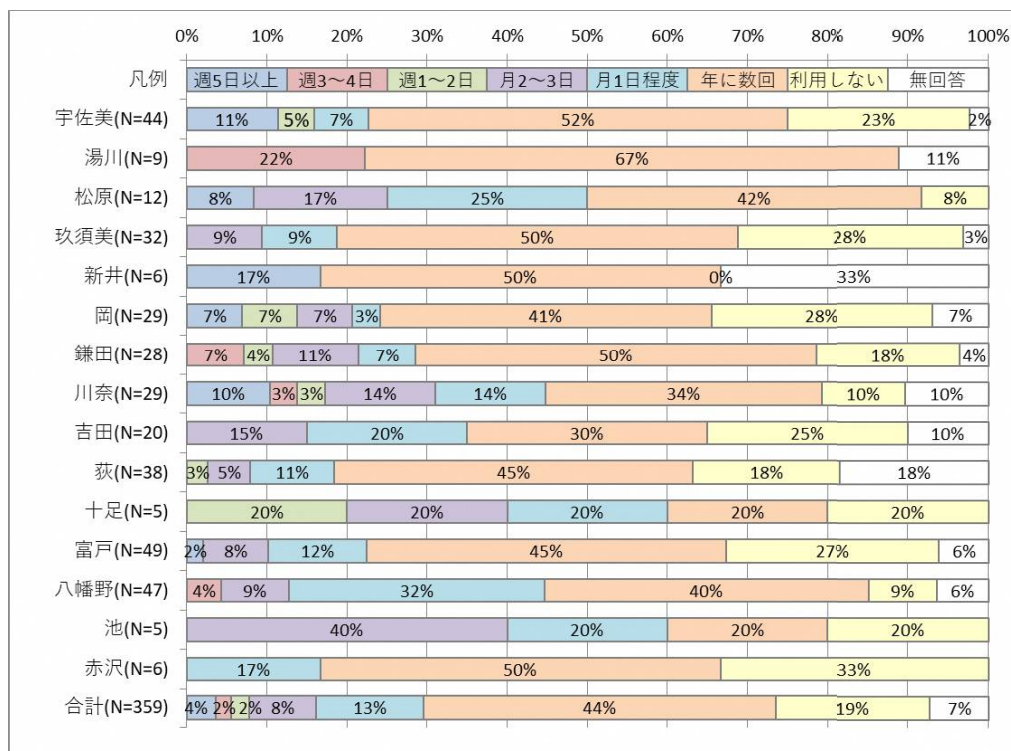
- 全体的に「徒歩」の割合が高い。



3. 鉄道の利用状況

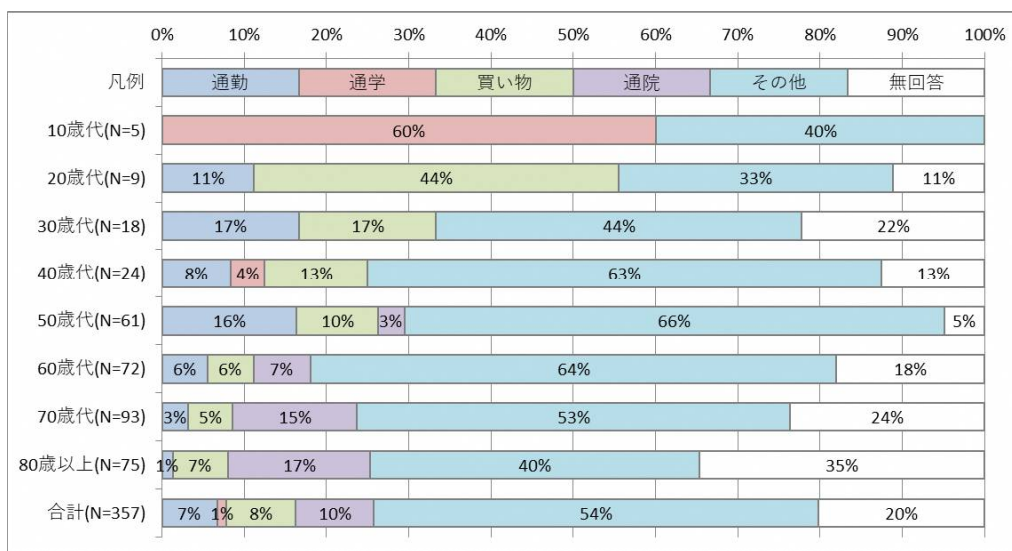
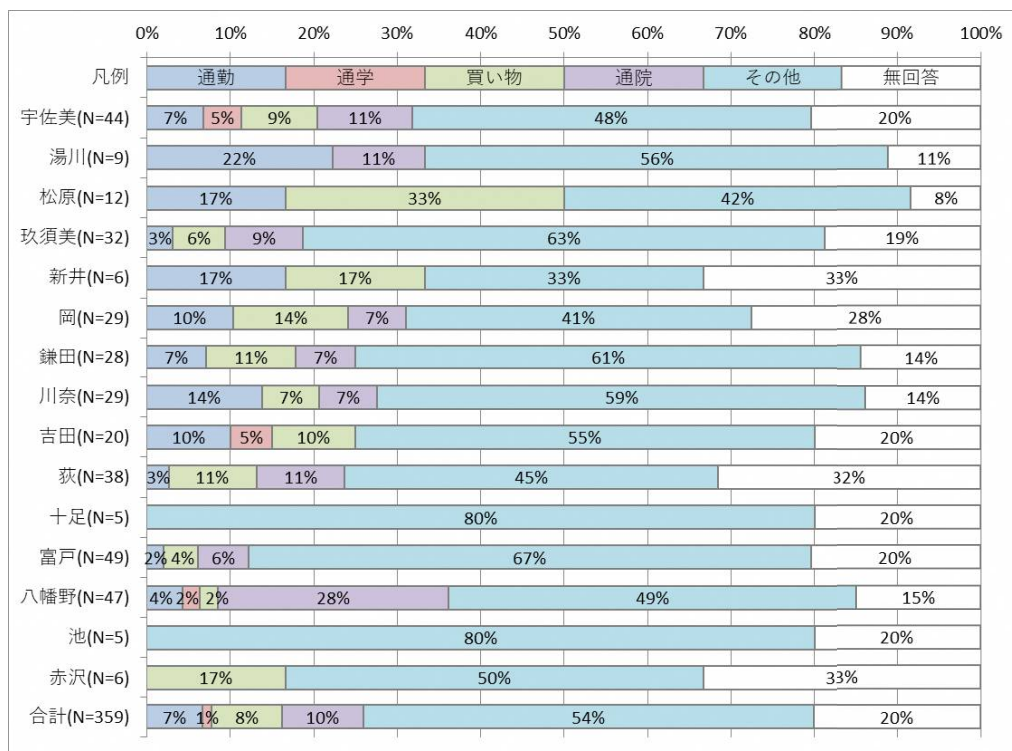
(1) 鉄道の利用頻度

- 全体的に「年に数回」、「利用しない」の割合が高い。



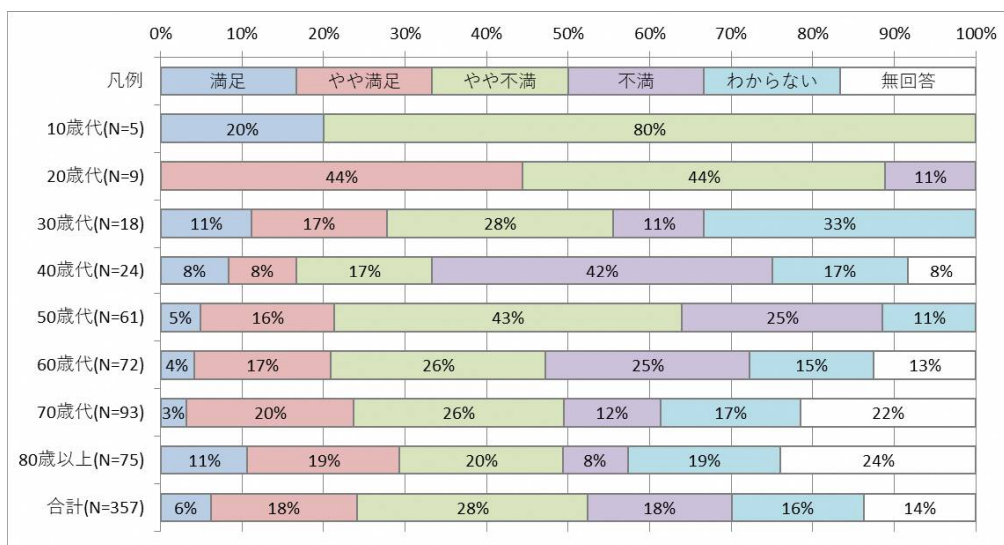
(2) 鉄道の利用目的

- 全体的に「その他」の割合が高い。
- 60歳以上では「通院」の割合も比較的高い。



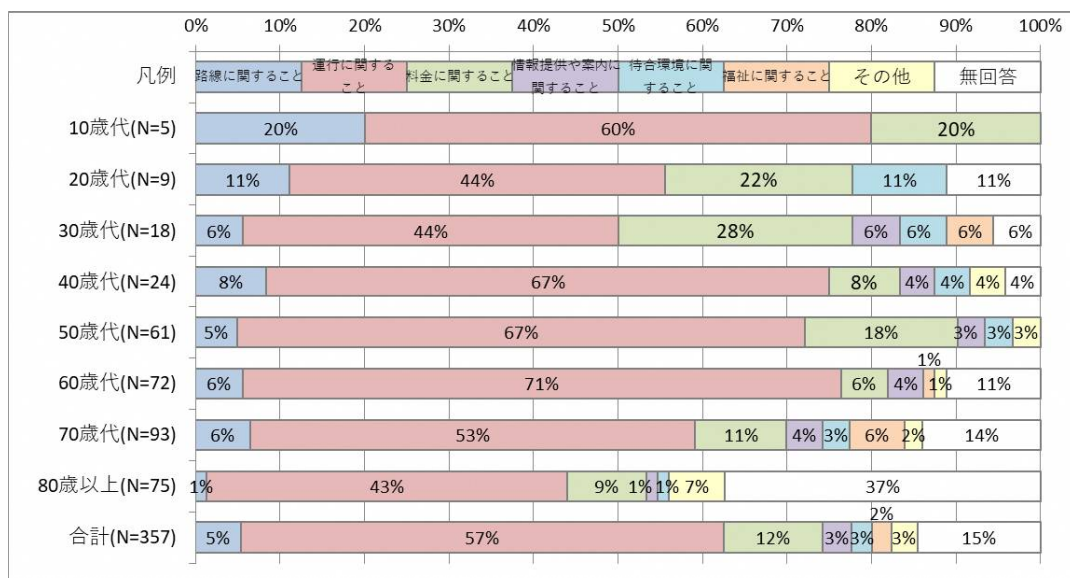
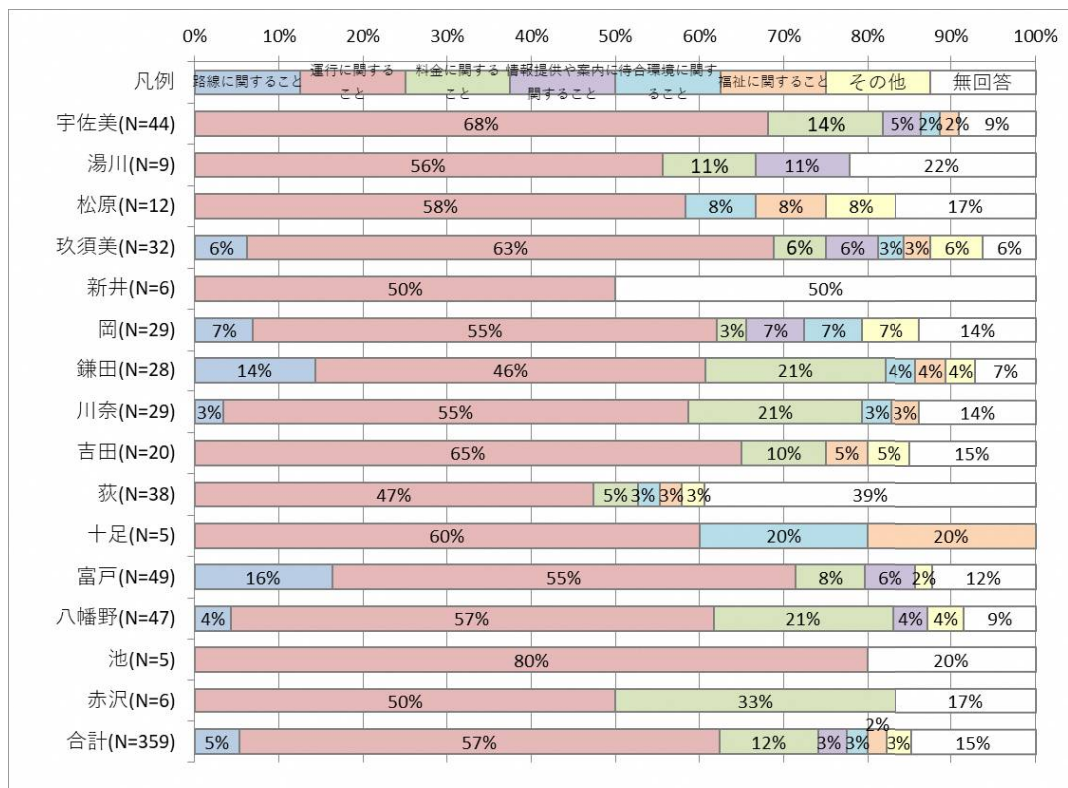
(3) 鉄道の満足度

- ・地域により満足度の傾向が異なるが、多くの地域で「やや不満」、「不満」が「満足」、「やや満足」を上回っている。また、多くの地域、年代で「わからない」と回答した人が一定数いる。



(4) 今後、鉄道を利用するにあたり、最も重視する点

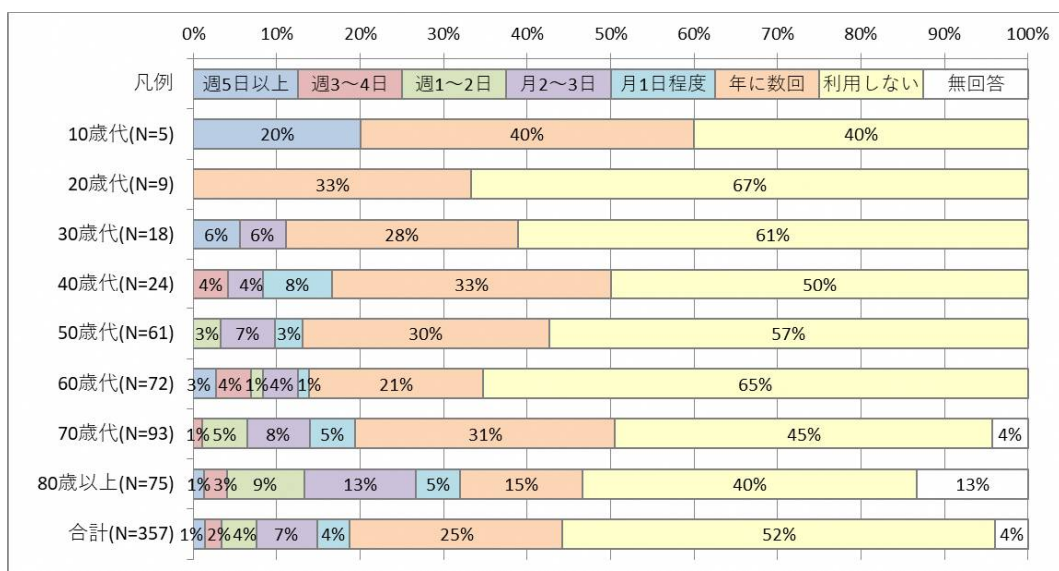
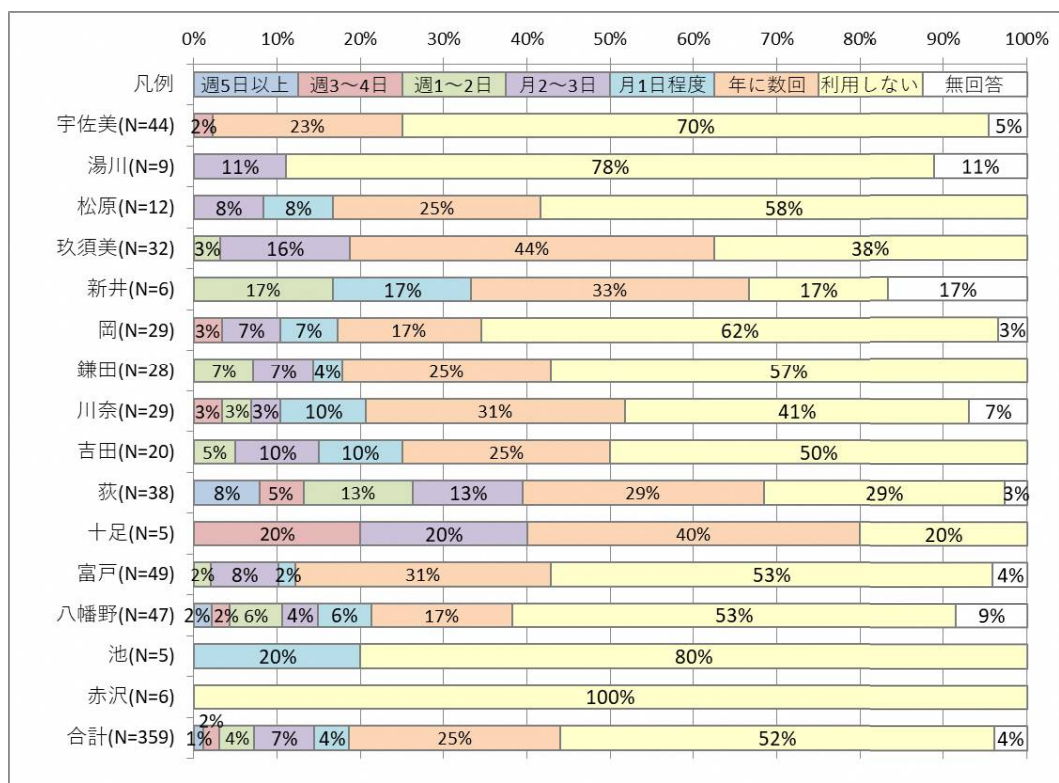
- 全体的に「運行に関すること」の割合が高い。



4. バスの利用状況

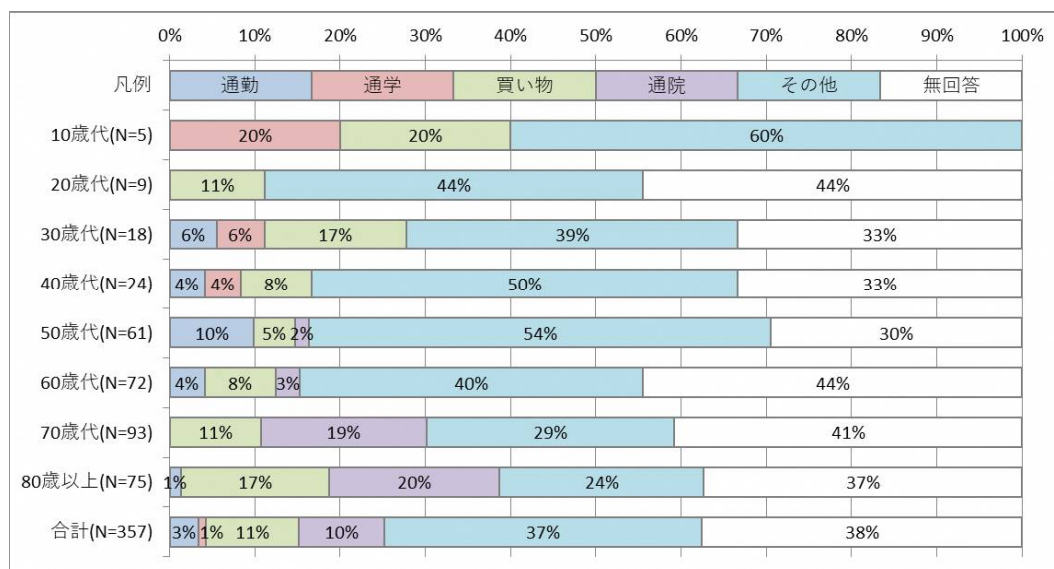
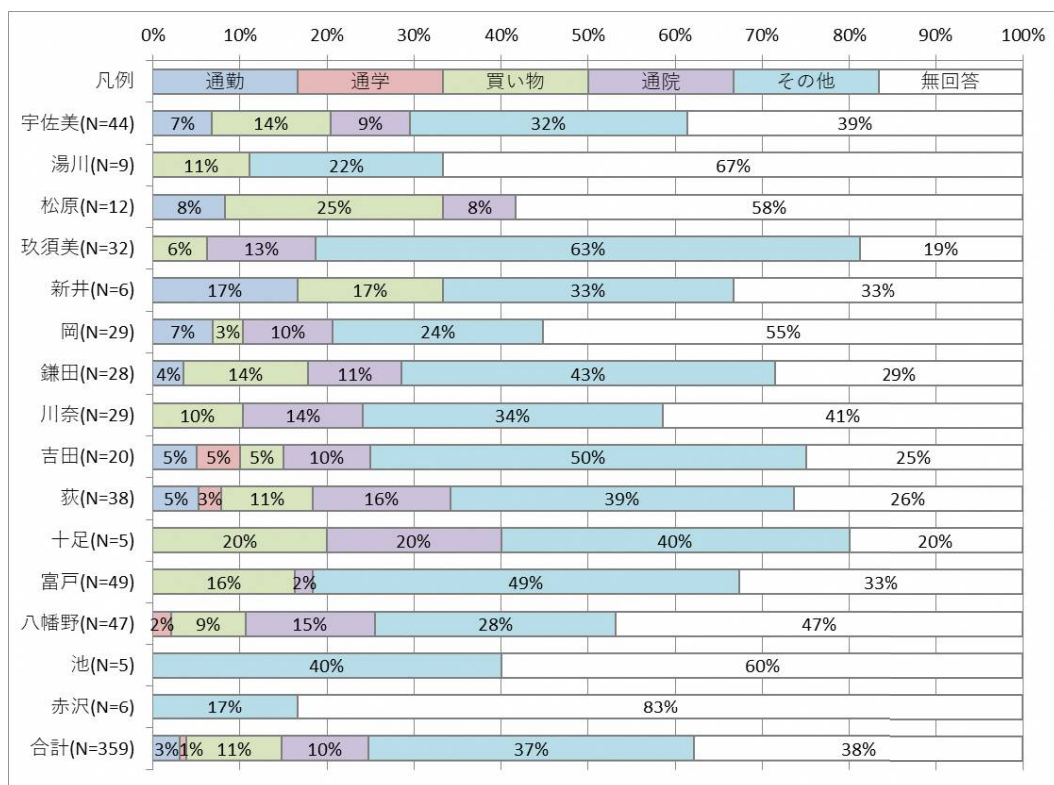
(1) バスの利用頻度

- 全体的に「利用しない」、「年に数回」の割合が高い。
- 年代が高齢になるほど、利用頻度が高い傾向にある。



(2) バスの利用目的

- 全体的に「その他」の割合が高い。
- 年代別では、70歳以上で「通院」の割合が比較的高くなっている。



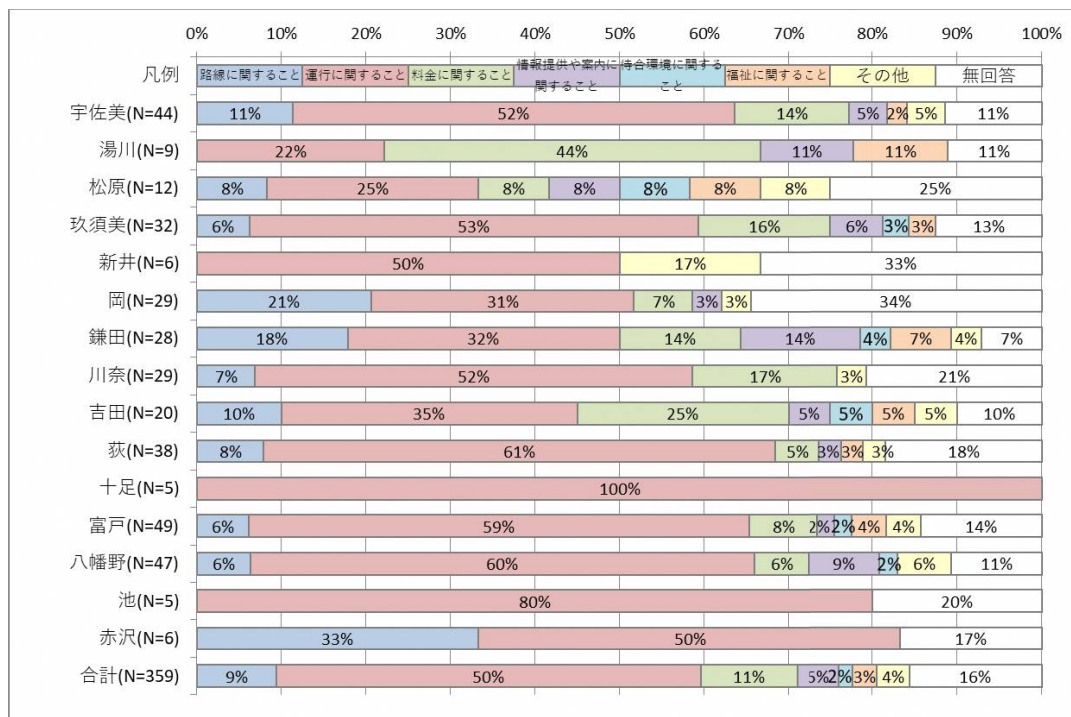
(3) バスの満足度

- ・地域別では、多くの地域で「やや不満」、「不満」が「満足」、「やや満足」を上回っている。
- ・年代別では、80歳以上などで「やや満足」の割合が高い。
- ・「わからない」の回答も目立つ。



(4) 今後、バスを利用するにあたり、最も重視する点

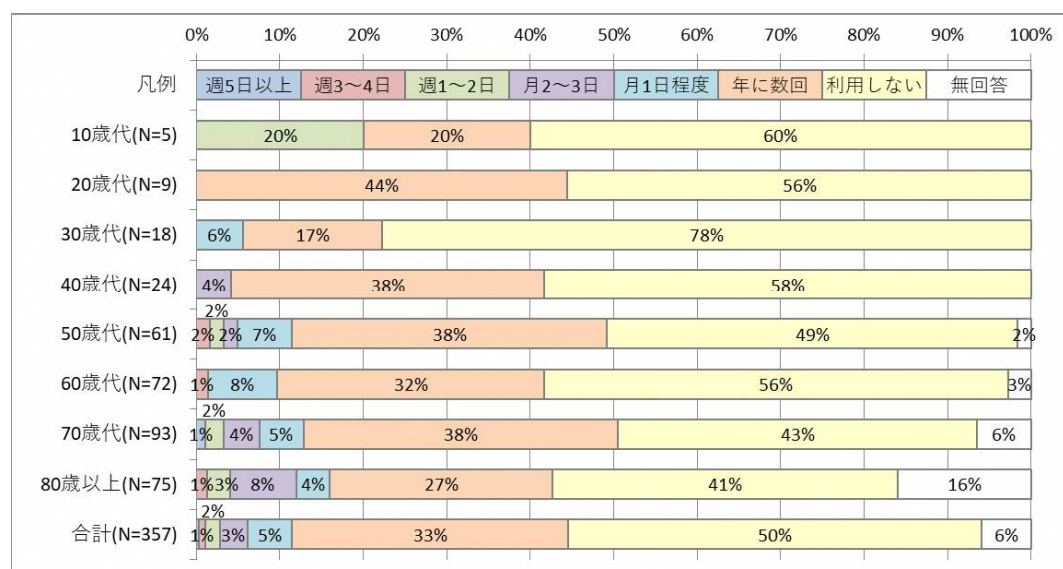
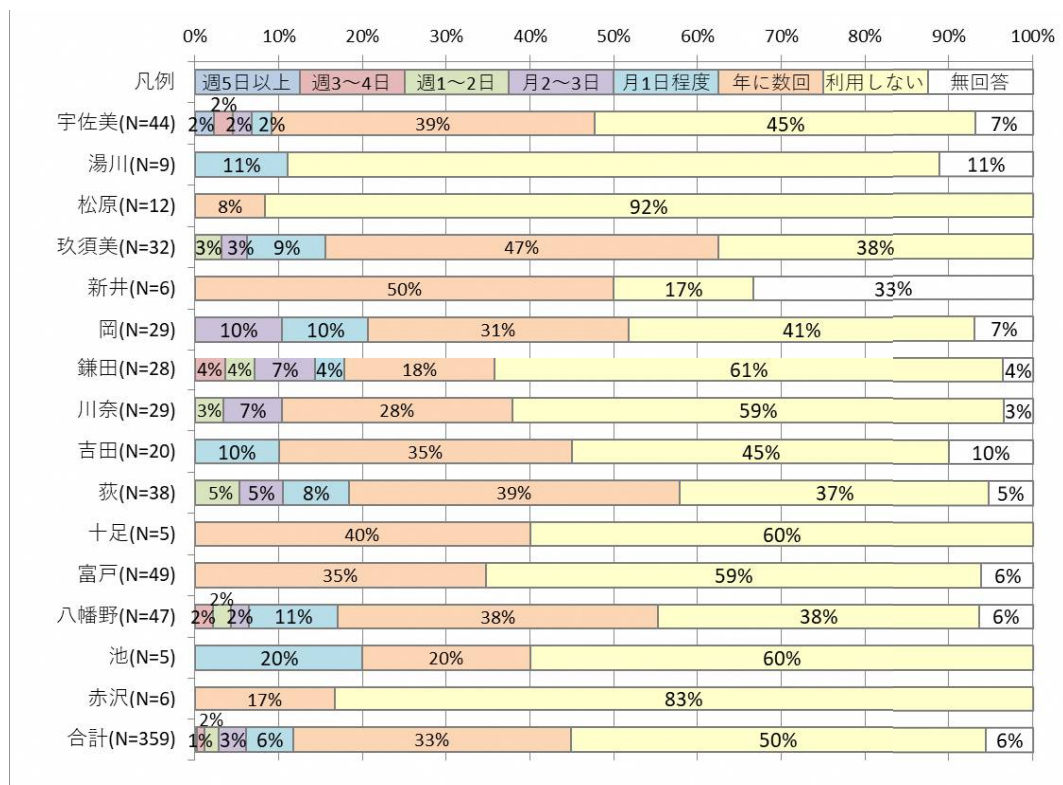
- 全体的に「運行に関すること」の割合が高い。



5. タクシーの利用状況

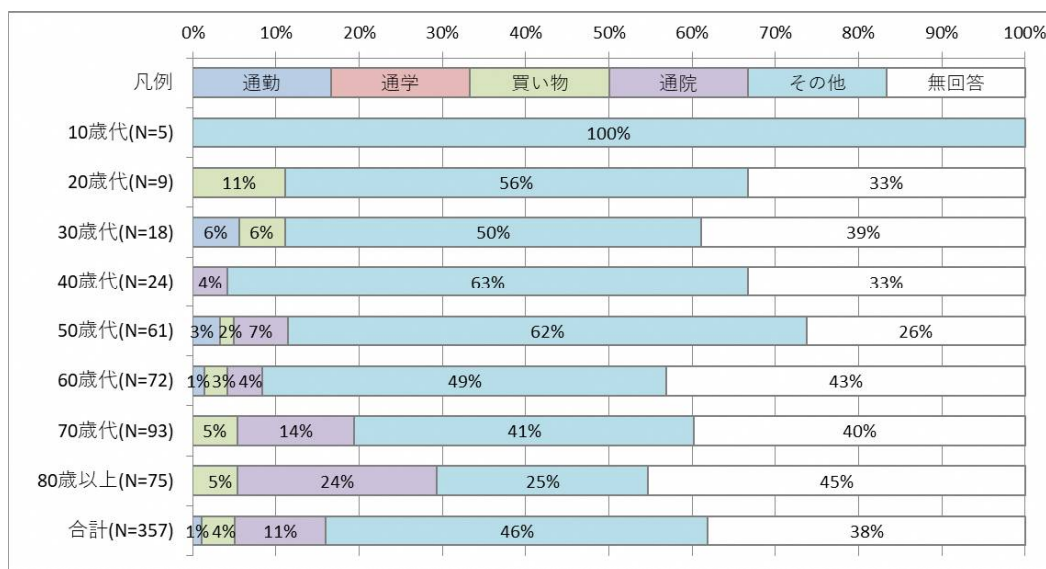
(1) タクシーの利用頻度

- ・全体的に「利用しない」、「年に数回」の割合が高い。
- ・年代が高齢になるほど利用頻度が高い傾向にある。



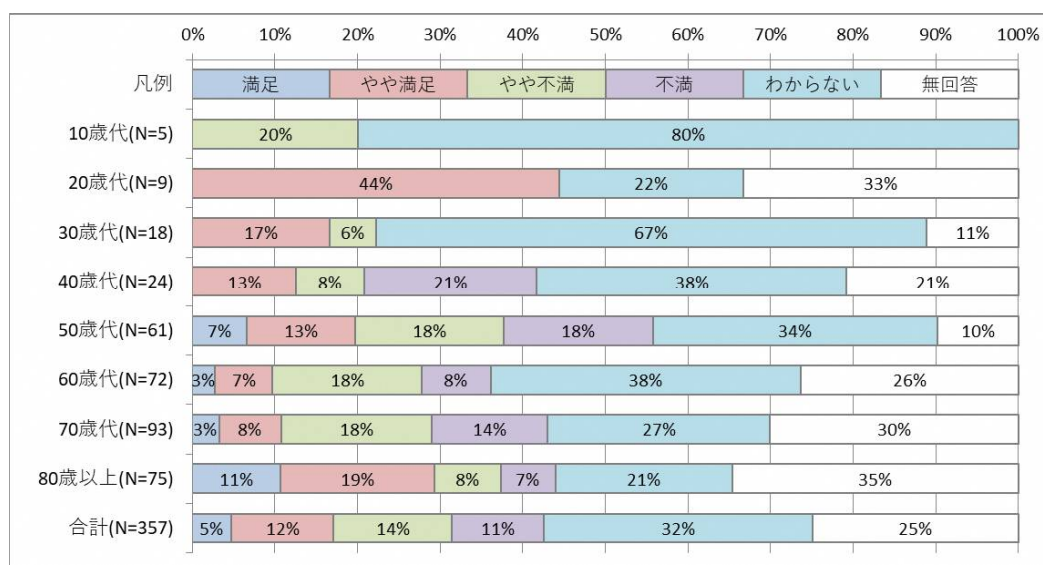
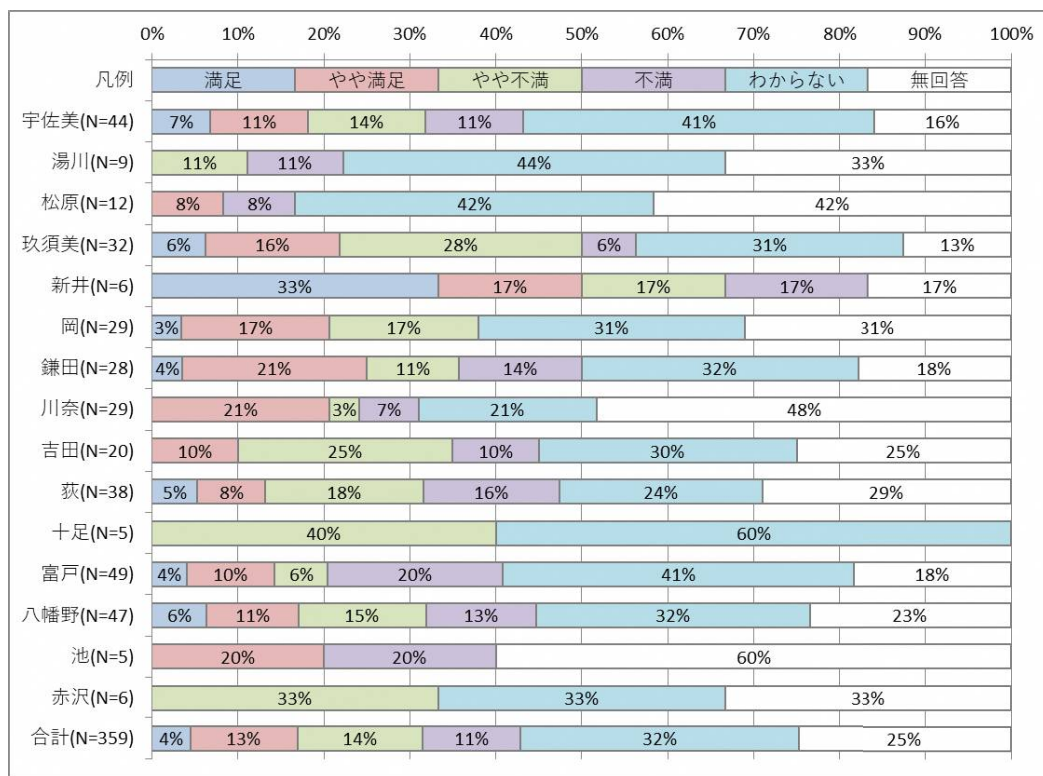
(2) タクシーの利用目的

- 全体的に「その他」の割合が高い。



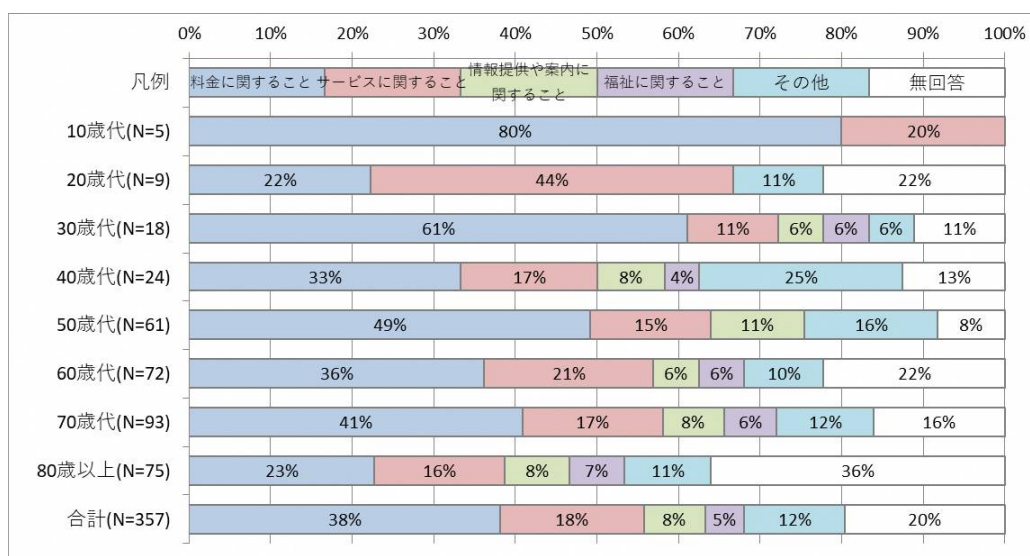
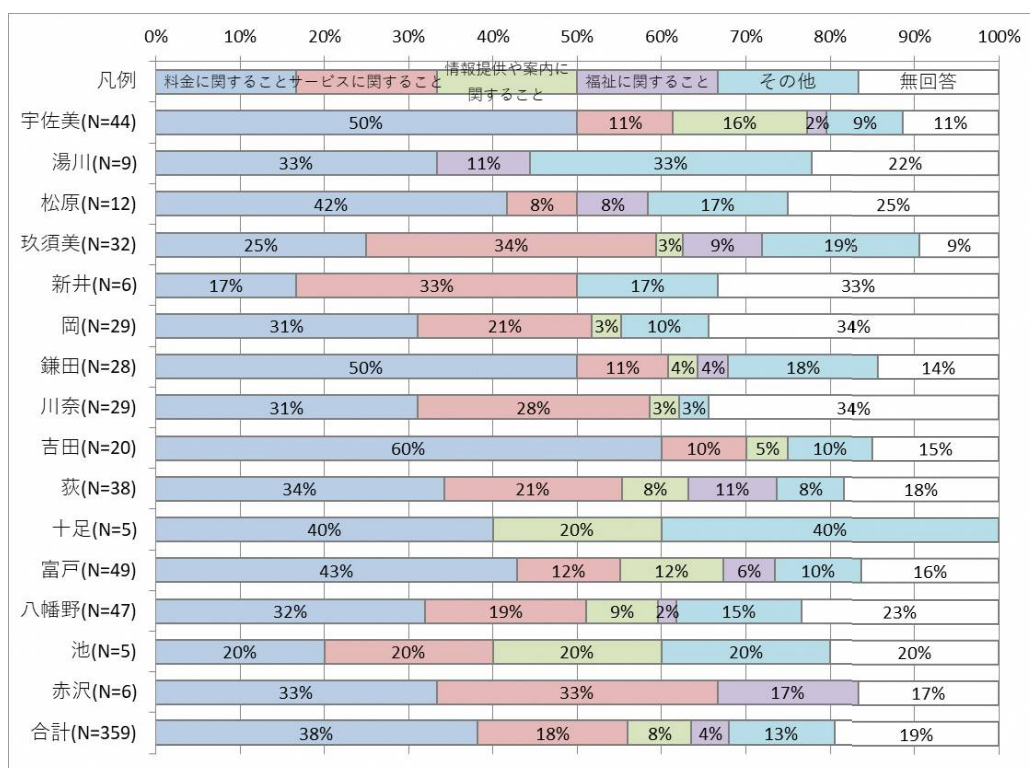
(3) タクシーの満足度

- ・年代別では、80歳以上で「満足」、「やや満足」が「やや不満」、「不満」を上回っており、満足度が比較的高くなっている。
- ・多くの地域、年代で「わからない」の回答者が一定数いる。



(4) 今後、タクシーを利用するにあたり、最も重視する点

- ・全体的に「料金に関すること」、「サービスに関すること」の割合が高い。地域別では、玖須美、川奈などで「サービスに関すること」の割合が比較的高い。

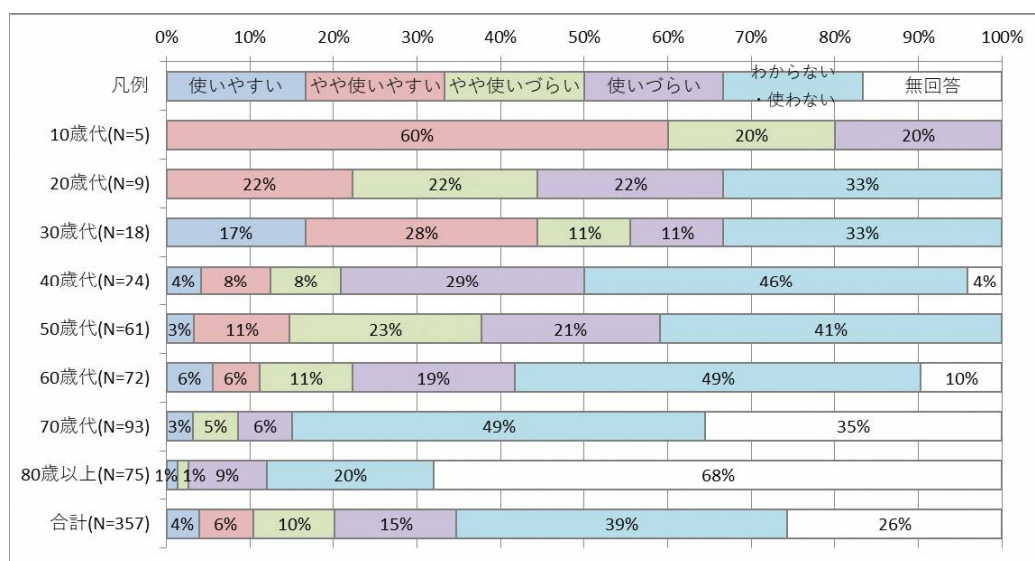
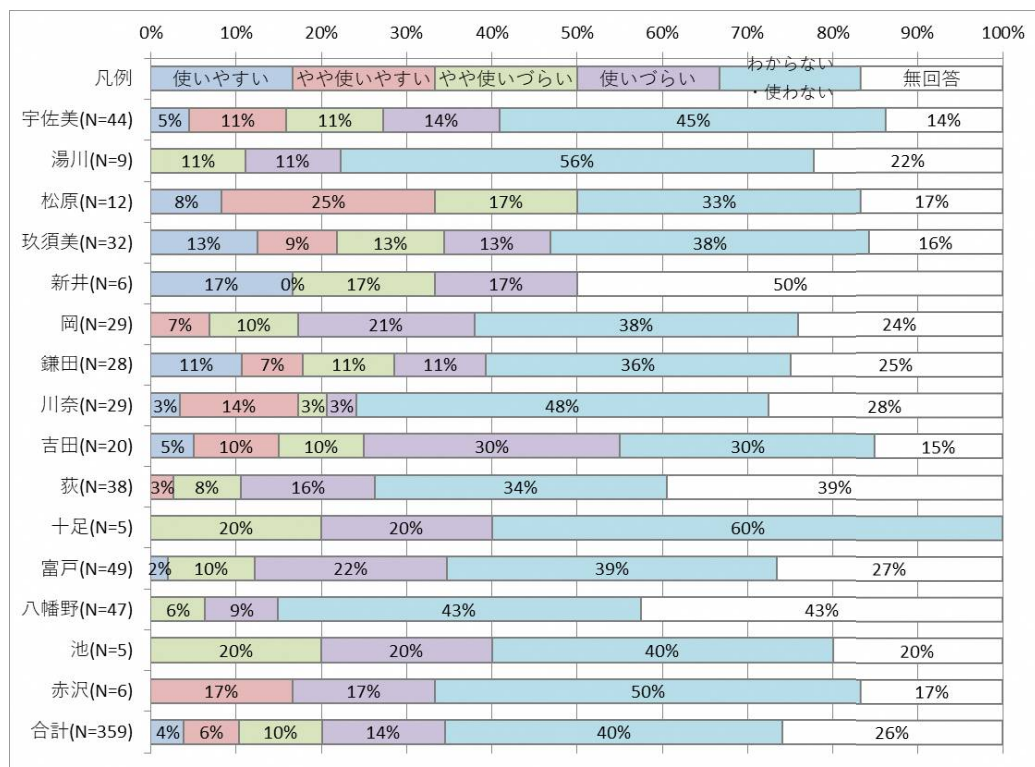


6. 公共交通の利用のしやすさ、今後の方向性について

(1) 公共交通の利用のしやすさ

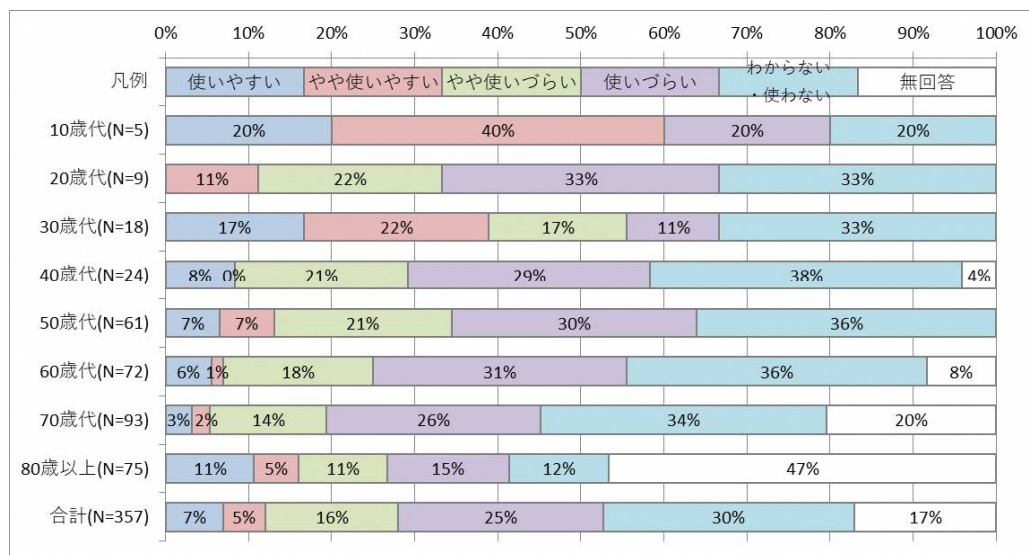
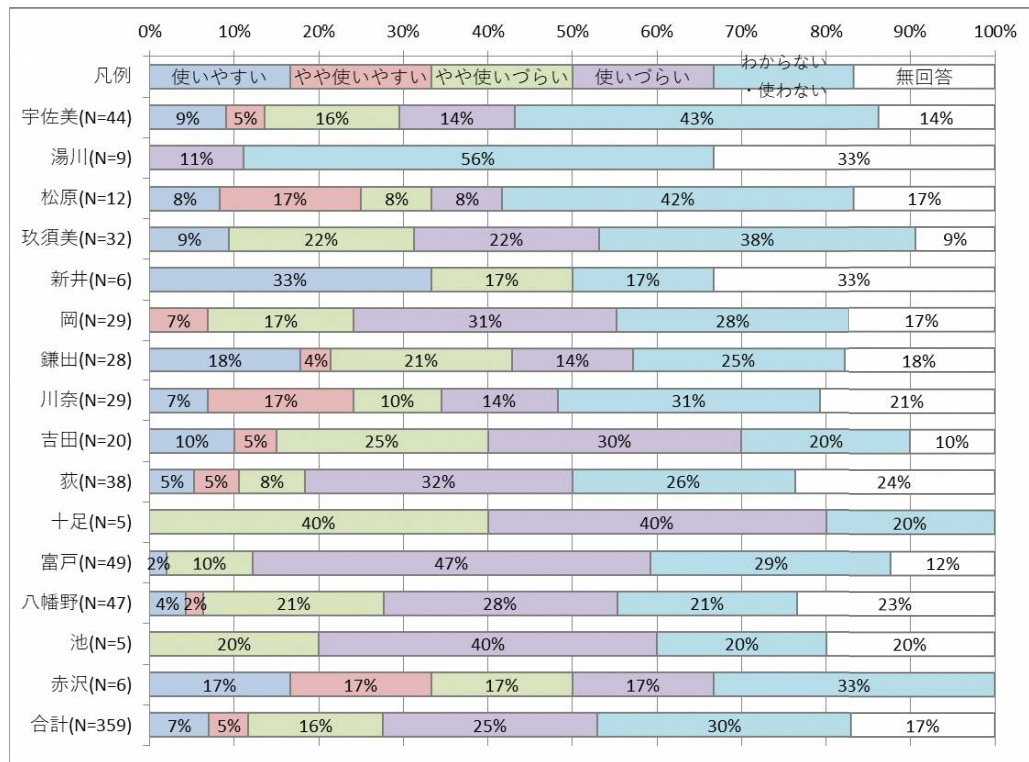
①通勤・通学

- ・年代別では、40歳以上で「やや使いづらい」、「使いづらい」が「使いやすい」、「やや使いやすい」を上回っており、公共交通が使いづらいと感じる人が多い傾向にある。
- ・全体的に「わからない・使わない」の割合も高い。年代別では、60歳代、70歳代で「わからない・使わない」が約半数となっている。



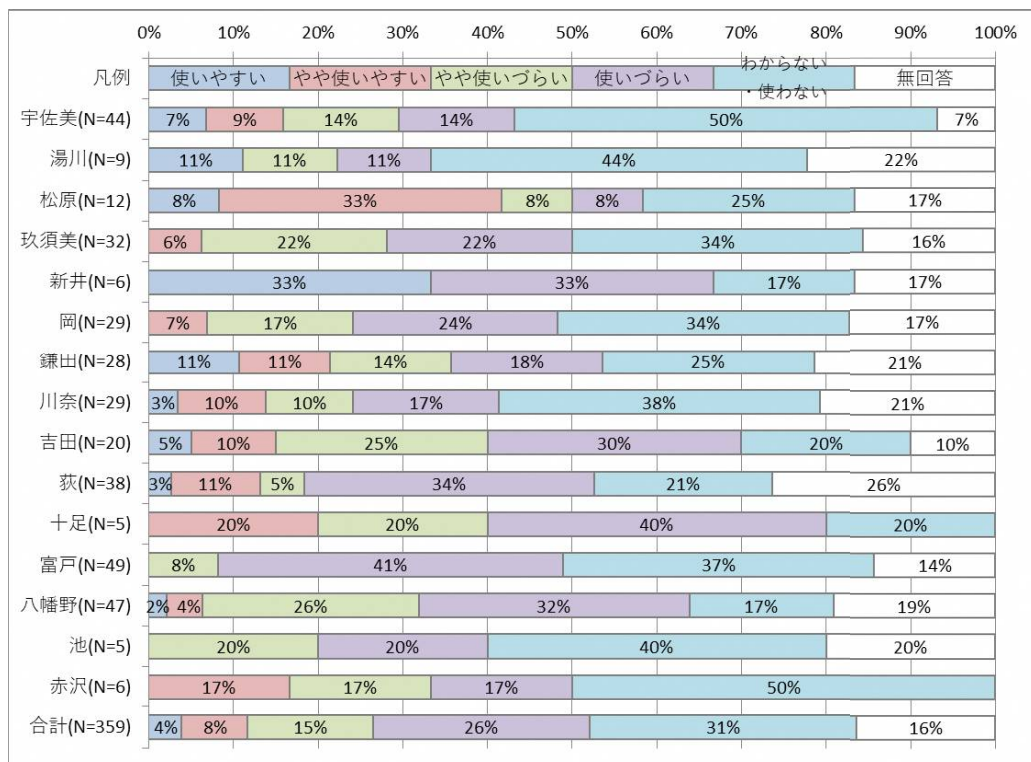
②買い物

- ・多くの地域で「やや使いづらい」、「使いづらい」の割合が高く、特に岡、荻などで「使いづらい」の割合が高い。



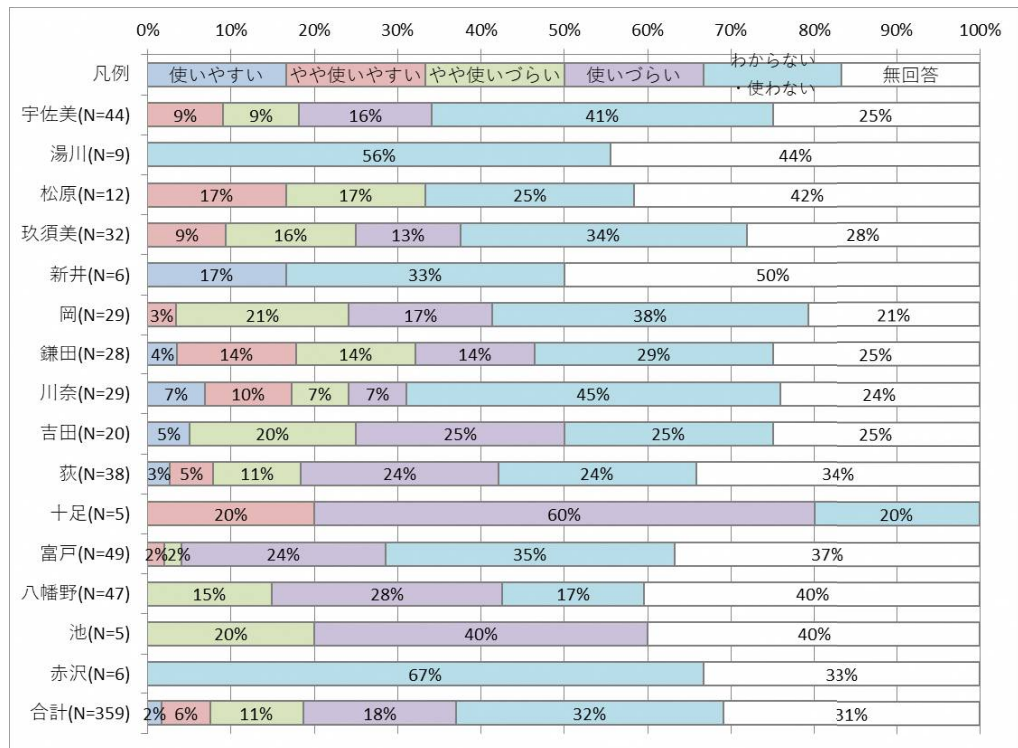
③通院

- 多くの地域、年代で「やや使いづらい」、「使いづらい」の割合が高い。



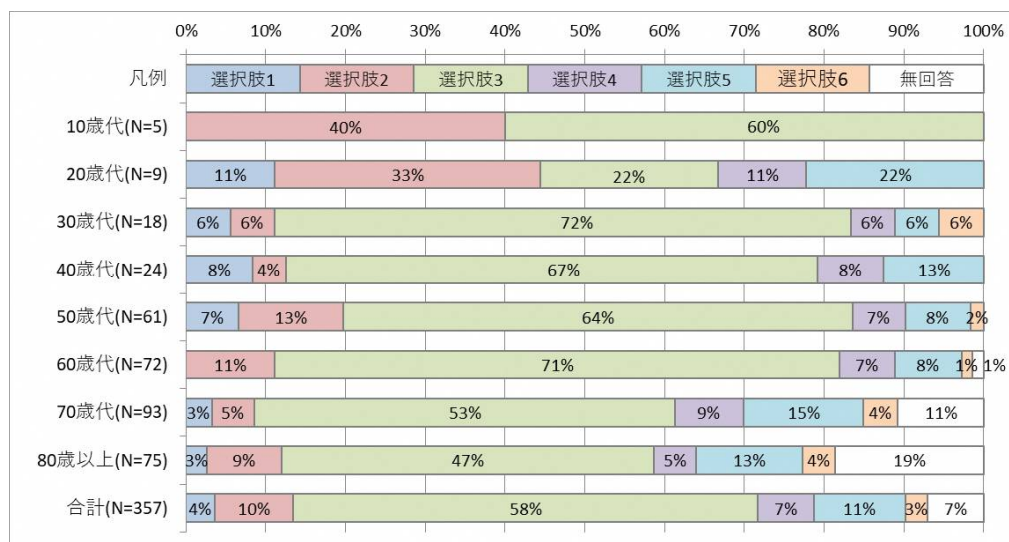
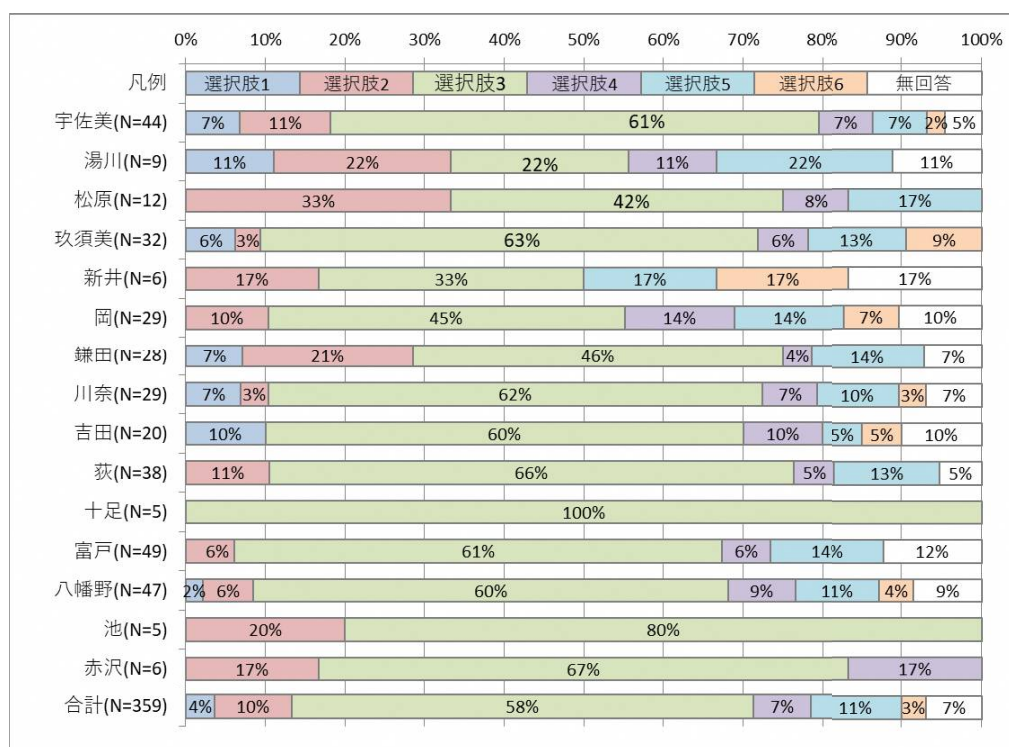
④その他

- 全体的に「やや使いづらい」、「使いづらい」の割合が高い。



(2) 市内の公共交通は近い将来、どのように変化していくと思われるか

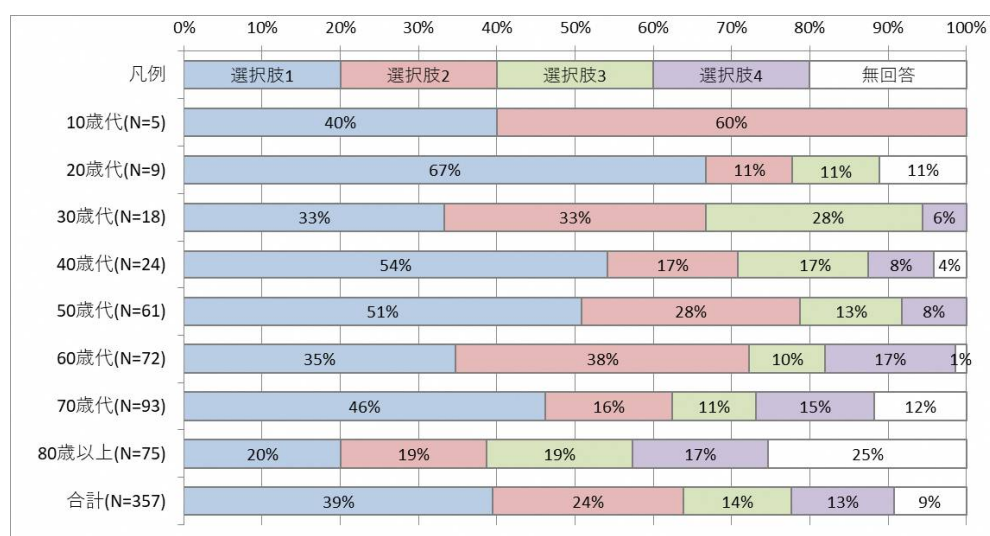
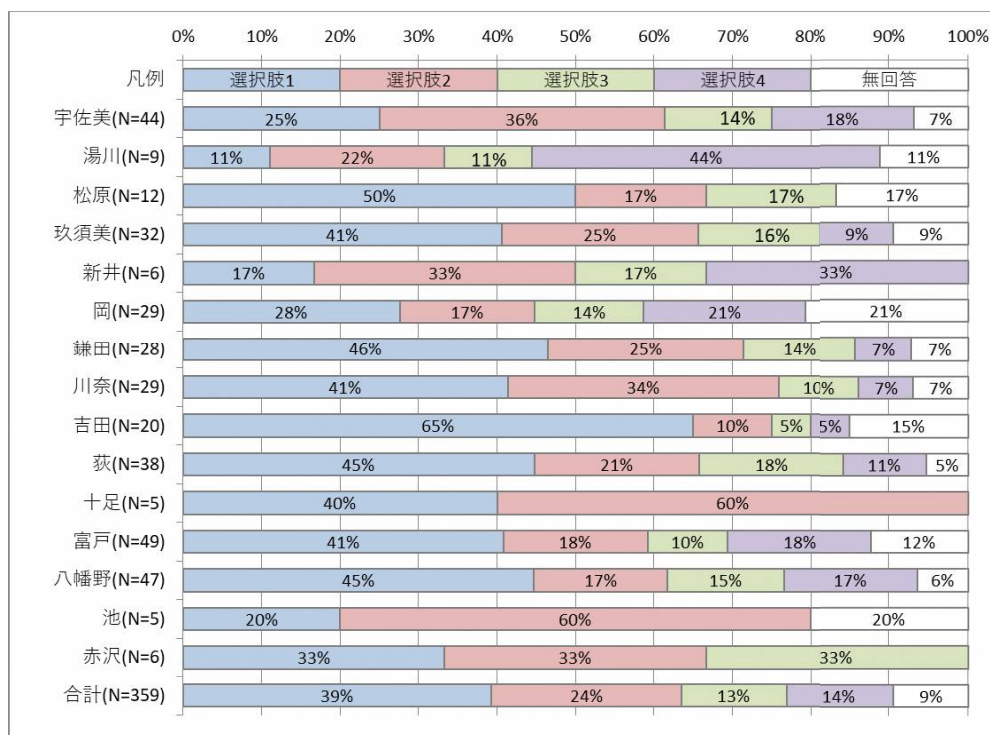
- ・全体的に選択肢3の割合が高いが、鎌田などでは選択肢2の割合も高い。



選択肢 1 : 今後は利用者が増加するため、事業者の運営状況は改善されると思う
 選択肢 2 : 現状から変化はなく、公共交通ネットワークは維持されると思う
 選択肢 3 : 近い将来、事業者の運営状況が悪化し、市内の公共交通は不便になると思う
 選択肢 4 : 近い将来、事業者の運営状況が悪化し、市内の公共交通はなくなると思う
 選択肢 5 : わからない
 選択肢 6 : その他

(3) 今後の伊東市での公共交通の維持に向けた財政支援について

- ・全体的に選択肢1、選択肢2の割合が高い。
- ・年代別では、60歳以上で選択肢4の割合が比較的高くなっている。



選択肢1：財政支援を拡大し、公共交通の利便性を高めるべきである

選択肢2：財政支援は現状を維持し、現在の公共交通の状況を維持すべきである

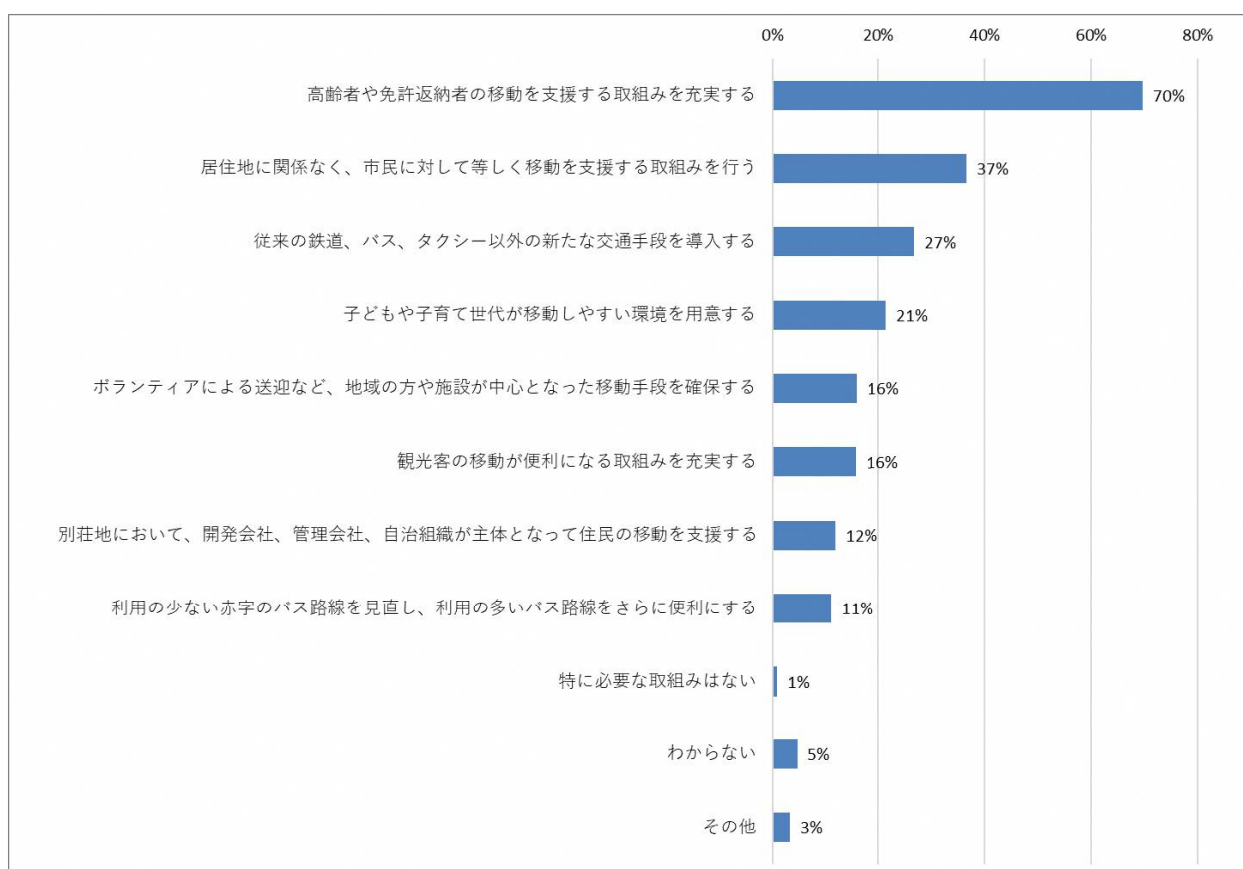
選択肢3：財政支援を縮小し、赤字路線の見直しや、交通事業者の経営努力を促すべきである

選択肢4：わからない

（４）今後、伊東市で必要な交通施策について

- ・「高齢者や免許返納者の移動を支援する取組みを充実する」の割合が最も高く、次いで「居住地に関係なく、市民に対して等しく移動を支援する取組みを行う」、「従来の鉄道、バス、タクシー以外の新たな交通手段を導入する」の順に割合が高い。
- ・年代別では、30 歳代、40 歳代などで「子どもや子育て世代が移動しやすい環境を用意する」の割合が高く、これらの年代では子育て世代を支える移動環境の充実を望む声が多い。
- ・40 歳以上で「従来の鉄道、バス、タクシー以外の新たな交通手段を導入する」の割合が高く、今後を見据えた新たな交通手段の充実を望む声が多いことが読み取れる。

<回答者全体>



<地域別>

回答者数

(人)

	宇佐美	湯川	松原	玖須美	新井	岡	鎌田	川奈	吉田	荻	十足	富戸	八幡野	池	赤沢
居住地に関係なく、市民に対して等しく移動を支援する取組みを行う	13	2	2	12	3	13	12	11	7	16	3	18	15	0	2
子どもや子育て世代が移動しやすい環境を用意する	12	0	3	7	1	10	6	11	5	7	2	6	6	1	0
高齢者や免許返納者の移動を支援する取組みを充実する	28	4	9	23	4	21	17	18	14	31	4	36	31	4	6
観光客の移動が便利になる取組みを充実する	8	1	1	6	0	6	5	5	4	4	1	6	7	2	1
従来の鉄道、バス、タクシー以外の新たな交通手段を導入する	12	2	3	6	2	5	2	8	8	10	0	14	18	2	2
ボランティアによる送迎など、地域の方や施設が中心となった移動手段を確保する	9	0	2	2	0	6	6	2	4	5	1	6	9	4	1
別荘地においては、開発会社、管理会社、自治組織が主体となって住民の移動を支援する	6	0	1	1	0	1	5	2	1	2	1	11	8	1	3
利用の少ない赤字のバス路線を見直し、利用の多いバス路線をさらに便利にする	4	2	0	3	1	5	5	4	2	2	0	3	7	0	0

回答割合

	宇佐美	湯川	松原	玖須美	新井	岡	鎌田	川奈	吉田	荻	十足	富戸	八幡野	池	赤沢
居住地に関係なく、市民に対して等しく移動を支援する取組みを行う	30%	22%	17%	38%	50%	45%	43%	38%	35%	42%	60%	37%	32%	0%	33%
子どもや子育て世代が移動しやすい環境を用意する	27%	0%	25%	22%	17%	34%	21%	38%	25%	18%	40%	12%	13%	20%	0%
高齢者や免許返納者の移動を支援する取組みを充実する	64%	44%	75%	72%	67%	72%	61%	62%	70%	82%	80%	73%	66%	80%	100%
観光客の移動が便利になる取組みを充実する	18%	11%	8%	19%	0%	21%	18%	17%	20%	11%	20%	12%	15%	40%	17%
従来の鉄道、バス、タクシー以外の新たな交通手段を導入する	27%	22%	25%	19%	33%	17%	7%	28%	40%	26%	0%	29%	38%	40%	33%
ボランティアによる送迎など、地域の方や施設が中心となった移動手段を確保する	20%	0%	17%	6%	0%	21%	21%	7%	20%	13%	20%	12%	19%	80%	17%
別荘地においては、開発会社、管理会社、自治組織が主体となって住民の移動を支援する	14%	0%	8%	3%	0%	3%	18%	7%	5%	5%	20%	22%	17%	20%	50%
利用の少ない赤字のバス路線を見直し、利用の多いバス路線をさらに便利にする	9%	22%	0%	9%	17%	17%	18%	14%	10%	5%	0%	6%	15%	0%	0%

<年代別>

回答者数

(人)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
居住地に関係なく、市民に対して等しく移動を支援する取組を行う	2	5	7	12	27	23	34	20
子どもや子育て世代が移動しやすい環境を用意する	3	3	13	11	14	11	13	10
高齢者や免許返納者の移動を支援する取組みを充実する	3	5	15	18	40	59	66	41
観光客の移動が便利になる取組みを充実する	0	4	5	5	16	10	10	7
従来の鉄道、バス、タクシー以外の新たな交通手段を導入する	1	0	3	4	23	21	26	16
ボランティアによる送迎など、地域の方や施設が中心となった移動手段を確保する	1	0	3	1	10	10	17	14
別荘地においては、開発会社、管理会社、自治組織が主体となって住民の移動を支援する	1	0	0	1	10	9	16	5
利用の少ない赤字のバス路線を見直し、利用の多いバス路線をさらに便利にする	0	1	3	3	7	7	8	9

回答割合

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
居住地に関係なく、市民に対して等しく移動を支援する取組を行う	40%	56%	39%	50%	44%	32%	37%	27%
子どもや子育て世代が移動しやすい環境を用意する	60%	33%	72%	46%	23%	15%	14%	13%
高齢者や免許返納者の移動を支援する取組みを充実する	60%	56%	83%	75%	66%	82%	71%	55%
観光客の移動が便利になる取組みを充実する	0%	44%	28%	21%	26%	14%	11%	9%
従来の鉄道、バス、タクシー以外の新たな交通手段を導入する	20%	0%	17%	17%	38%	29%	28%	21%
ボランティアによる送迎など、地域の方や施設が中心となった移動手段を確保する	20%	0%	17%	4%	16%	14%	18%	19%
別荘地においては、開発会社、管理会社、自治組織が主体となって住民の移動を支援する	20%	0%	0%	4%	16%	13%	17%	7%
利用の少ない赤字のバス路線を見直し、利用の多いバス路線をさらに便利にする	0%	11%	17%	13%	11%	10%	9%	12%

公共交通（鉄道・バス・タクシー）に関する住民アンケート調査

1. はじめに、「あなたご自身」についてお伺いします。

問1. ①お住まい、②年代、③運転免許の保有、④自動車の保有台数 をお答えください。

①お住まいの 大字	1. 宇佐美 2. 湯川 3. 松原 4. 玖須美 5. 新井 6. 岡 7. 鎌田 8. 川奈 9. 吉田 10. 萩 11. 十足 12. 富戸 13. 八幡野 14. 池 15. 赤沢
②年代	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代 8. 80 歳以上
③運転免許の保有	1. 持っている 2. 持っていたが返納した 3. 持っていない
④世帯での自動車 の保有台数	1. 2 台以上ある 2. 1 台ある 3. 世帯に自動車はない

2. 普段の外出の状況についてお伺いします。

問2. 普段の外出での「A. 最も多い外出」「B. 2 番目に多い外出」について、

①目的、②行先、③頻度、④主な交通手段、⑤駅までの交通手段 をお答えください。

	A. 最も多い外出	B. 2 番目に多い外出
①目的 (1つに○印)	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. その他
②行先 ()に記入	施設名または住所 () 記入例： 施設名 伊東市役所、○△スーパー伊東広野店 住所 伊東市大原2丁目、熱海市多賀 など	施設名または住所 () 記入例： 施設名 伊東市役所、○△スーパー伊東広野店 住所 伊東市大原2丁目、熱海市多賀 など
③頻度 (1つに○印)	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 月1日以下	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 月1日以下
④主な 交通手段 (1つに○印)	1. 鉄道 2. バス 3. 自動車（自分で運転する場合） 4. 自動車（ご家族等の送迎の場合） 5. タクシー 6. 原付・バイク 7. 自転車 8. 徒歩 9. その他	1. 鉄道 2. バス 3. 自動車（自分で運転する場合） 4. 自動車（ご家族等の送迎の場合） 5. タクシー 6. 原付・バイク 7. 自転車 8. 徒歩 9. その他
 ④主な交通手段 で「1. 鉄道」と回答した方は、⑤についても回答してください (「1. 鉄道」以外を回答した方は、⑤は回答不要です)		
⑤駅までの 交通手段 (1つに○印)	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. バス 5. タクシー 6. その他	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. バス 5. タクシー 6. その他

次ページ (2/4) に続きます→

3. 鉄道の利用状況についてお伺いします。

問3. 「鉄道」の利用頻度をお答えください。(1つに○印)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1. 週5日以上 | 2. 週3～4日 | 3. 週1～2日 | 4. 月2～3日 | 5. 月1日程度 |
| 6. 年に数回 | 7. 利用しない | | | |

問4. 「鉄道」の主な利用目的をお答えください。(1つに○印)

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|--------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 買い物 | 4. 通院 | 5. その他 |
|-------|-------|--------|-------|--------|

問5. 市内の「鉄道」の満足度をお答えください。(1つに○印)

- | | | | | |
|-------|---------|---------|-------|----------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 | 5. わからない |
|-------|---------|---------|-------|----------|

問6. 今後、「鉄道」を利用するにあたり、最も重視する点をお答えください。(1つに○印、「7. その他」を選択した場合は、() に具体内容を記入)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 路線に関すること(駅の配置、駅の位置など) |
| 2. 運行に関すること(運行本数、運行時間帯、バスとの乗継など) |
| 3. 料金に関すること(料金体系、料金の支払方法など) |
| 4. 情報提供や案内に関すること(路線図、時刻表、運行情報など) |
| 5. 待合環境に関すること(駅の待合所の設備など) |
| 6. 福祉に関すること(車いす、ベビーカーでの利用など) |
| 7. その他() |

4. バス(高速バスや貸切バスを除く)の利用状況についてお伺いします。

問7. 「バス」の利用頻度をお答えください。(1つに○印)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1. 週5日以上 | 2. 週3～4日 | 3. 週1～2日 | 4. 月2～3日 | 5. 月1日程度 |
| 6. 年に数回 | 7. 利用しない | | | |

問8. 「バス」の主な利用目的をお答えください。(1つに○印)

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|--------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 買い物 | 4. 通院 | 5. その他 |
|-------|-------|--------|-------|--------|

問9. 市内の「バス」の満足度をお答えください。(1つに○印)

- | | | | | |
|-------|---------|---------|-------|----------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 | 5. わからない |
|-------|---------|---------|-------|----------|

問10. 今後、「バス」を利用するにあたり、最も重視する点をお答えください。(1つに○印、「7. その他」を選択した場合は、() に具体内容を記入)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 路線に関すること(バス停の配置、経路など) |
| 2. 運行に関すること(運行本数、運行時間帯、鉄道との乗継など) |
| 3. 料金に関すること(料金体系、料金の支払方法など) |
| 4. 情報提供や案内に関すること(路線図、時刻表、運行情報など) |
| 5. 待合環境に関すること(バス停の設備など) |
| 6. 福祉に関すること(車いす、ベビーカーでの利用など) |
| 7. その他() |

次ページ(3/4)に続きます→

5. タクシーの利用状況についてお伺いします。

問 11. 「タクシー」の利用頻度をお答えください。(1 つに○印)

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1. 週 5 日以上 | 2. 週 3～4 日 | 3. 週 1～2 日 | 4. 月 2～3 日 | 5. 月 1 日程度 |
| 6. 年に数回 | 7. 利用しない | | | |

問 12. 「タクシー」の主な利用目的をお答えください。(1 つに○印)

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|--------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 買い物 | 4. 通院 | 5. その他 |
|-------|-------|--------|-------|--------|

問 13. 市内の「タクシー」の満足度をお答えください。(1 つに○印)

- | | | | | |
|-------|---------|---------|-------|----------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 | 5. わからない |
|-------|---------|---------|-------|----------|

問 14. 今後、「タクシー」を利用するにあたり、最も重視する点をお答えください。(1 つに○印、
「5. その他」を選択した場合は、() に具体内容を記入)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 料金に関すること (料金体系、料金の支払方法など) |
| 2. サービスに関すること (運転手の接客など) |
| 3. 情報提供や案内に関すること (運行情報など) |
| 4. 福祉に関すること (車いす、ベビーカーでの利用など) |
| 5. その他 () |

6. 公共交通の利用のしやすさ、今後の方向性についてお伺いします。

問 15. お住まいの地域において公共交通の利用のしやすさは、どのようにお考えですか。外出目的 (下の表の A～D) ごとに評価 (下の表の 1～5 のいずれかに○) してください。

外出目的	評価				わからない ・使わない
	使いやすい ←			→ 使いづらい	
A 通勤・通学	1	2	3	4	5
B 買い物	1	2	3	4	5
C 通院	1	2	3	4	5
D その他	1	2	3	4	5

問 16. 問 15 で「3」または「4」と回答した外出目的について、具体的な理由があれば、以下の回答欄にご記入ください。

外出目的	具体的な理由
A 通勤・通学	
B 買い物	
C 通院	
D その他	

次ページ (4/4) に続きます→

問 17. 伊東市では毎年、公共交通関連で財政支援を行い、公共交通のサービス水準の維持に向けた取り組みを行っています。(令和 6 年度は約 6,000 万円を使用)

加えて、公共交通の利用者数の減少や運転士の不足により、公共交通事業を支える運行事業者の運営は依然厳しい状況が続いています。このような現状を踏まえ、市内の公共交通は近い将来、どのように変化していくと思われますか。(1 つに○印、「6. その他」を選択した場合は、() に具体内容を記入)

1. 今後は利用者が増加するため、事業者の運営状況は改善されると思う
2. 現状から変化はなく、公共交通ネットワークは維持されると思う
3. 近い将来、事業者の運営状況が悪化し、市内の公共交通は不便になると思う
4. 近い将来、事業者の運営状況が悪化し、市内の公共交通はなくなると思う
5. わからない
6. その他 ()

問 18. 問 17 のお考えを踏まえ、今後の伊東市での公共交通の維持に向けた財政支援について、どのようにお考えですか。(1 つに○印)

1. 財政支援を拡大し、公共交通の利便性を高めるべきである
2. 財政支援は現状を維持し、現在の公共交通の状況を維持すべきである
3. 財政支援を縮小し、赤字路線の見直しや、交通事業者の経営努力を促すべきである
4. わからない

問 19. 今後、伊東市で必要な交通施策として、あなたのお考えに近いものを選んでください。(当てはまるものを 3 つまで○印、「11. その他」を選択した場合は、() に具体内容を記入)

1. 居住地に関係なく、市民に対して等しく移動を支援する取り組みを行う
2. 子どもや子育て世代が移動しやすい環境を用意する
3. 高齢者や免許返納者の移動を支援する取り組みを充実する
4. 観光客の移動が便利になる取り組みを充実する
5. 従来の鉄道、バス、タクシー以外の新たな交通手段を導入する
6. ボランティアによる送迎など、地域の方や施設が中心となった移動手段を確保する
7. 別荘地においては、開発会社、管理会社、自治組織が主体となって住民の移動を支援する
8. 利用の少ない赤字のバス路線を見直し、利用の多いバス路線をさらに便利にする
9. 特に必要な取り組みはない
10. わからない
11. その他 ()

問 20. 公共交通に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。